

2022 - 2023 年度
東日本区年次報告書
・
行政監査報告書



2023年9月1日

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

目次

理事	1
次期理事	4
直前理事	5
書記	5
会計	8
地域奉仕・YMCA サービス事業	9
会員増強事業	11
国際・交流事業	12
ユース事業	13
北海道部	15
北東部	16
関東東部	17
東新部	19
あずさ部	21
湘南・沖縄部	23
富士山部	26
文献・組織検討委員会	27
LT委員会	29
東日本区ワイズ基金委員会	31
奈良傳賞選考委員会	32
ワイズメネット委員会	33
東日本大震災支援対策本部	34
Change!2022 推進委員会	34
東日本区事務所人事委員会	36
法人推進委員会	36
ヒストリアン	37
ITアドバイザー	38
トラベルコーディネーター	38
広報・伝達(PR)専任委員	39
ユース代表	41
東日本区事務所	42
担当主事	43
2022-2023 年度行政監査報告書	46

理事

理事 佐藤重良(甲府21)

東日本区の運営に関して、ワイズに関係するすべての皆さまに、お支え、お励まし、ご協力をいただき、1年間、理事を務めさせていただきましたことに、心から感謝申し上げます

2022-23年度は、前年度同様、コロナ禍によって活動が制限されてのスタートでした。年度の後半からはコロナ禍も少し終息の兆しがみえてきました。ワイズ活動も本格的ではありませんが、例会、各種会議、CS・Yサ活動など、少しずつ動き出しました。しかし、最大の課題であります、クラブ会員の減少に歯止めがかかりません。クラブの解散・会員退会等が続いております。この問題につきまして東日本区として、もっと親身になって問題可決に向けてご支援することが出来ず、申し訳なく思っております。2022-23年度も、特に会員増強に重点を置き活動してきましたが、リアルでの活発な活動が出来ず、成果が上がらない1年でした。

次年度も少子高齢化、組織・規則改定、法人化のメリット活用、新時代のLT等、多くの課題があります。諦めず粘り強くワイズの未来のために、活動を推進していただきたいと思っております。

【理事主題】「未来に向けて今すぐに行動しよう」

“Let’s act now for the future”

【スローガン】「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

“Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!”

【重点取り組み課題と達成状況】

以下に2022-23年度に重点的に取り組むとしたことならについての活動状況、成果、課題等の概要を記します。詳細は、それぞれの事業主任の年次報告をご覧ください。

1. 情報発信の充実と地域奉仕の活性化

- 東日本区内のコミュニケーション向上のため、理事通信のページ数を増やし、充実した情報発信に心掛けました。今後も、理事通信の内容を充実させ、ワイズに関係する皆さんとの相互コミュニケーションを活性化していただきたいと思っております。
- それぞれの地域で引き継がれてきた奉仕活動を活性化するよう毎月の理事通信で呼びかけて、取り組んできましたが、コロナ禍のため積極的な活動には至りませんでした。その中でも、震災被害地へ誕生カードを寄贈したり、ウクライナ避難民に手づくりマフラーを届けたりする等の活動が行われたところもあります。今後とも、これらの例のように、社会や地域の課題を捉え、創意工夫して、奉仕活動が活性化されていくことを期待します。
- 地域社会・YMCAへの奉仕活動を活性化させるためのツール、プロボノリストアップに取り組みましたが、完成までには至りませんでした。継続して取り組んでいただきたいと思っております。
- 東日本区のウェブサイトの更新は継続進行中ですが、現時点で未完了です。早期の完成に取り組む必要があります。

2. 会員減少への対応

- 理事主題に掲げましたように、会員増強のために「今すぐ行動しよう」と部大会で呼びかけたり、理事通信に毎号、会員増強促進のための記事を掲載したりしました。
- EMC 委員会、Change ! 2022 推進委員会も積極的に取り組み、会員増強 100 日間キャンペーンも推進しました。
- Change ! 2022 推進委員会の具体的な活動のひとつとして、都市 YMCA 館内にワイズのポスターを掲示したり、YMCA 機関誌にワイズメンズクラブの紹介記事を掲載したり、YMCA との連携、情報共有を密にして YMCA 関係者からの会員獲得に重点を置きました。
- 足掛け 4 年間活動した Change ! 2022 推進委員会の尽力にも関わらず、2022 年 7 月 1 日付けの会員数 770 名に対して、2023 年 4 月 1 日付の会員数も同じ 770 名と、会員数純増目標 60 名の目標を達成することはできませんでした。
- 新クラブ設立については、3 クラブを目標としましたが、1 クラブのチャーターに留まりました。

3. 国際・交流の活性化

- 献金の達成目標を定め理事通信・メール等で献金の目標達成を依頼しました
- 献金のクラブ会員の理解を深めるための TOF/BF/RBM 等の献金項目の見える化をしました
- 献金ゼロのクラブがあり、今後、理解、協力を深めるための施策が必要です。
- IBC 締結:2 クラブを目標したものの、締結はありませんでした。
- DBC 締結:目標の 2 クラブの締結が行われました。(西クラブヘキサゴンにおける千葉ウエストおよび東京西))
- フェローシップ
 - ・ 東西日本区交流会 2023.2.4-5 ANA クラウンプラザホテル神戸 東日本区から 130 名参加。奉仕 4 団体のフォーラム、フリーディスカッション「語ろうワイズの未来」、晩餐会等、有意義で、友情を育む素晴らしい会でした。
 - ・ ワイズメンズクラブ国際協会 100 周年祝賀会 2023.3.10-12 グランドハイアット台北 東日本区から 24 名参加。全体では 600 名強の参加者でした、東日本区は PWALF(ポールウィリアムアレキサンダー遺産基金)に貢献したことでゴールドenster 賞を受賞しました。

4. ユース事業への取り組み

- ユースアクション SDGsの活動等、過去にない活発な活動を行いました。
- 国際ユースコンボケーション(IYC)(タイ・チェンマイ):9月4日～9日開催。東日本区から5名の参加
- ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF):9月30日～10月2日開催。56名(内、ワイズ17名)の参加。於 東京 YMCA 山中湖センター
- オープンフォーラム Y(OFY):5月20日開催。53名の参加。於 日本 YMCA 同盟会議室+Zoom
- ユースクラブの設立:3 クラブを目標としましたが、成果無しに終わりました。ユースクラブの設立は、高齢化の進むワイズの将来のためにも重点的に取り組む必要を感じています。
- IYC、YVLF、OFY の参加者への定期的なフォローを行う必要があると思います。また、ワイズとユースの交流をより広め、深め、絆を強くし、双方の発展に寄与することも望まれます。

【東日本区大会】

東日本区大会はコロナ禍によって、リアルでの大会の中止が続き、今回、4年ぶりの開催となりました。参加者は293名でした。北は北海道から南は西日本区・熊本等、各地からご参加いただき感謝申し上げます。

未来のため、ユースに光を当てた大会にしようと考え、プログラムを作りました。オープニングセレモニーには山梨英和高校の聖歌隊のハンドベルと合唱で大会の幕開けとしました。メインのプログラムではユースの活動報告として、甲府21クラブ支援のユースアクション参加の山梨YMCAユースリーダー会の2名、松本クラブ支援のアジア賞受賞留学生2名に発表していただきました。大変好評で、意義ある大会となりました。晩餐会も久しぶりの再会を大いに楽しんでいただきました。2日目は日曜礼拝から始まり、各種表彰式、理事引継ぎ式、エクスカッション等無事終了しました。

大会は、山梨YMCA、山梨英和高校、山梨県内4クラブ(甲府、甲府21、富士五湖、甲府やまなみ)などの皆さまに強力なご支援をいただき、開催ができました。ありがとうございました。次は十勝大会です。北海道でまたお会いいたしましょう。

【その他の取り組み・活動報告】

- トルコ・シリア大震災緊急支援募金活動:2023年2月から3月末にかけて募金を行い、100万円(区内クラブ、個人からの献金701,320円 + JEFからの支援金298,680円)を集め、日本YMCA同盟に託しました
- 各種献金:BF、TOF、CS、ASF、FF、RBM、YES、ユース活動支援の合計献金額は4,017,242円で、目標金額に対して73.7%の達成率でした。皆さまの各種献金へのご理解とご協力に感謝申し上げます。詳しくは会計の報告の項をご覧ください。

【会議の記録】

1. 理事主宰の東日本区内の会議

- 常任役員会 月例12回+臨時2回 合計14回
- 東日本区役員会 通常4回+臨時1回 合計5回
- 東日本区代議員会 年次1回+臨時2回 合計3回

2. その他の会議

- 東西理事連絡会議(4/19) 1回
- アジア太平洋地域議会(議員として出席) 4回

その他、数多くの事業委員会、常置委員会、特別委員会等に出席いたしました。

【部大会の記録】

- 北海道部部大会 8/27(土) 札幌YMCA(ハイブリッド) 16名参加
- 北東部部大会 12/3(土) Zoom 19名参加
- 関東東部部大会 10/1(土) Zoom 37名参加
- 東新部部大会 10/8(土) 在日本韓国YMCA(ハイブリッド) 59名参加
- あずさ部部大会 10/15(土) 忍野村いちい亭 75名参加
- 湘南・沖縄部部大会 10/22(土) 湘南とつかYMCA 26名参加

- 富士山部部大会 中止

【国際表彰】(2021-22 年度の成果についての表彰)

- エルマー・クロウ賞 長谷川あや子 2021-22 年度あずさ部部长
- ブースター賞(個人) 宮岡宏美さん (甲府 21)
- ブースター賞 (クラブ) 甲府 21 クラブ

東日本区の皆さま、コロナ禍の中にあっても、東日本区へのご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

次期理事

次期理事 山田公平(宇都宮)

1. 次期理事キャビネットの組織化、方針計画などの準備:ほぼ 1 年かけて徐々にキャビネットメンバーを決めました。12 月に次期事業主任、部長研修会(LT 委員会主催)を開催、その準備の中で次年度の方向性が見えてきました。そして、3 月には 1 泊の次期会長・部役員研修会への準備を進める中で計画、方針、人選などを決めていきました。
2. 常任役員会(毎月)、東日本区役員会(年 4 回)および代議員会:次期理事として出席し、議案提出、諸問題について審議に加わってきました。
3. RDE サミット:次期理事として IHQ 主催の RDE サミット(台北にて、3 月 12-14 日に開催)に参加しました。世界各地から RDE 約 40 名と APE7 名が集められ、世界やアジア太平洋地域の展望が見えてきました。
4. 東日本区事務所人事委員会:1 月 30 日に山田が小林現所長と協議し、文書にて委員との意見交換を行い、賛成多数で次期所長として小林隆氏の任期延長が決定されました。
5. LT 委員会:研修会の進め方など役割分担し、資料作成、配布、そして 12 月 4 日に次期事業主任・部長研修会を実施しました。また、3 月 5-6 日には 1 泊の次期会長・部役員研修会が東山荘で実施されました。これらの研修会を企画運営していく中で、ワイズの在り方を考える機会にもなり、方針の伝え方なども含めて大変参考になりました。
6. 文献組織委員会:委員会に出席し、状況把握に努めました。
7. ユース事業委員会:年度後半における委員会は、ユースアクションの事例を学ぶ機会となり、それが 5 月 20 日に行われるオープンフォーラム Y という形で、ユースアクションの在り方などを再度顧みる機会に繋がりました。ユース委員会とユースアクションの活動が互いに補完する関係になってきました。
8. 国際・交流事業委員会:事業委員の一人として参加しました。
9. 法人推進委員会:ほぼ毎月行われました。一般社団法人になり、何がメリットにつながるかなどを検討しました。
10. 東西日本区交流会実行委員会:ワイズ 100 周年、東西日本区 25 周年を記念してほぼ 2 年間準備を進め

てきました。交流会は、2月4-5日に神戸で開催されました。約430人の参加でした。ロータリー、ライオンズ、キワニス、ワイズなど奉仕団体の持つ課題や在り方をそれぞれの代表が意見交換を行なうプログラムもあり、地域における奉仕団体の新しい在り方を考えることができ、大変参考になりました。

11. 区内の部、クラブの例会、評議会などへの訪問：部評議会、クラブ例会などに卓話に招かれました。その他にもインフォーマルな形でのワイズ関係者の集まりがありました。
12. ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会、およびそこから発生したユースアクションタスクチームなどに主催者として関わってきました。

直前理事

直前理事 大久保知宏(宇都宮)

役割

理事トロイカの一角として、佐藤理事を支え、常任役員会、東日本区役員会に参加することに加え、職責委員長として、法人推進委員会委員長、指名委員会委員長、また職責委員として、東日本大震災支援対策本部、東日本区事務所人事委員会、ワイズ・YMCA パートナーシップ委員会、今期の特別委員会として東西日本区交流会実行委員として活動しました。

結果

上記委員会に適宜参加しました。

災害発生時やクラブ解散などの事案の発生に際しては、過去の経験から佐藤理事に提案を行いました。

課題

委員会の多さから業務の進捗に影響が出ていました。適切な役割分担が必要と感じます。

書記

書記 清藤城宏(甲府21)

書記の任務として理事を補佐し、理事の指示にしたがって区の運営にあたり、区の事務全般を掌りました。出来るだけ各事業委員会、各委員会にも参加させていただきました。

1. 常任役員会

- 第1回:2022年7月2日
- 第2回:2022年8月10日
- 第3回:2022年9月23日
- 第4回:2022年10月17日
- 第5回:2022年11月18日
- 第6回:2022年12月15日

- 第7回:2023年1月30日
- 臨時:2022年2月12日
- 第8回:2023年2月27日
- 第9回:2023年3月21日
- 臨時:2023年3月26日
- 第10回:2023年4月日
- 第11回:2023年5月22日

2. 東日本区役員会

第1回:2022年7月9日オンライン 出席者26名。内議決権者13名

議案:第1号議案 2020-21年度東日本区第4回役員会議事録を承認。第2号議案 第26回東日本区大会登録費を承認。第3号議案 東日本区主催の会合での礼拝献金の贈呈先を東日本区大震災被災者復興支援活動に。講演:「戦略2032について」(田中博之 国際ASF事業主任、区行政監事)。報告:理事、事業主任、部長、委員長等の活動計画。監事講評

臨時役員会:2022年8月18日 オンライン 出席者29名。内議決権者13名、

議案:第1号議案 第1回東日本区役員会議事録を承認。第2号議案 2021-2022年度東日本区年度期末決算報告およびChange!2022決算報告を承認。第3号議案 2021-2022年度理事年度報告を承認。「一社総会」:第1号議案 理事および監事の選任承認、臨時代議員会投票に至るスケジュールを承認。報告:国際議会の報告、国際選挙の特例申請、国際議員の推薦、BFの受け入れ、国際協会100周年祝賀会参加、東西日本区交流会関連、YMCA担当主事への依頼、IYC応募結果、東日本区ウェブサイトの運用、ハンドブック・ロースターの発行予定、戦略2032の取り組み、一社のメリットを生かした活動の現状、パートナーシップ検討委員会報告、ウクライナ避難民チャリティーコンサート、次期部長・事業主任研修会、各事業主任、委員長、専任委員、部長からの報告・連絡事項。監事講評

第2回:2022年11月5日 対面・東日本区事務所会議室&オンライン 出席者29名。内対面13名議決権者13名

議案:第1号議案 臨時役員会議事録を承認。第2号議案 2023-2024年度東日本区役員を承認。第3号議案 2022-2023年度東日本区大会実施報告。第4号議案 新クラブ設立助成金制度の継続。第5号議案 東西交流会開催支援金承認。報告:東日本区現況、国際・アジア太平洋地域、次期理事方針、各事業主任・各部長活動報告、委員会・専任委員等報告。監事講評

第3回:2023年4月8日~9日 山梨YMCA 対面 出席者34名。内議決権者13名

議案:第1号議案 第2回東日本区役員会議事録を承認。第2号議案 2023-2024年度理事方針を承認。第3号議案 2023-2024年度東日本区予算案(継続審議)。第4号議案 2023-2024年度東日本区役員を承認。第5号議案 Change!2022会計決算を承認。第6号議案 CS・Yサ・



ASF 資金運用規定の改訂案を承認。報告:東日本区現況、国際・アジア太平洋地域、次期理事方針、各事業主任・各部長活動報告、委員会・専任委員等報告、グループディスカッション(ワイズのこれから)。監事講評

第4回:5月30日 オンライン

議案:第1号議案 第3回東日本区役員会議事録承認。第2号議案 東日本区年次代議員会議案事前

審議。第3号議案 FF 献金の年度末残額の扱いに関する件。第4号議案 札幌クラブ/札幌北クラブの合併の件。第5号議案 東京北クラブ解散の件。第6号議案 東京多摩みなみクラブ/東京町田スマイリングクラブ合併の件。第7号議案 東日本区事務所長任期継続の承認
第4～第6号議案は別の議案です。提案者は各部長

3. 東日本区代議員会

- 臨時代議員会 2022年8月18日から2022年8月31日までを投票期間と定め、Google フォームを用いて各議案についての賛否の投票を受け付けました。第1号議案 2021-2022年度東日本区会計決算報告および2021-2022年度 Change! 2022 決算報告書を承認。第2号議案 2021-2022年度理事年度報告を承認。第3号議案 一般社団法人新理事体制を承認
- 臨時代議員会 2022年12月1日から2022年12月11日までを投票期間と定め、議決権行使はがきを用いて議案についての賛否の投票を受け付けました。議案 2024-2025年度の東日本区理事指名の件 山田公平(宇都宮)候補を承認
- 年次代議員会 2023年6月3日

第1号議案 2022-2023年度 東日本区年次報告および行政監査報告承認の件

第2号議案 2022-2023年度 東日本区中間決算報告および会計監査報告承認の件

第3号議案 次年度の次期理事、次期監事承認の件

第4号議案 2023-2024年度東日本区理事方針承認の件

第5号議案 2023-2024年度 東日本区役員承認の件

第6号議案 2023-2024年度東日本区予算案承認の件

第7号議案 第28回東日本区大会ホストクラブ承認の件

第8号議案 臨時代議員会実施の件

4. 理事通信の発行

〈1〉第1号 7月1日、〈2〉第2号 8月1日、〈3〉第3号 9月5日、〈4〉第4号 10月3日、〈5〉第5号 11月6日、〈6〉第6号 12月7日、〈7〉第7号 1月1日、〈8〉第8号 2月7日、〈9〉第9号 3月7日、〈10〉第10号 4月3日、〈11〉第11号 5月8日

5. 評価・反省

- 東日本区理事キャビネット活動手順書があるにも関わらず、それに沿った運営が、必ずしもスムーズに行えませんでした。
- 各議事録の作成では要点を明確に記録することに心がけましたが、不備が多く、田中行政監事の校閲に負うところが大きかったです。
- 連絡手段はメールで行いましたが、それが伝わっているのかチェックできない場合もありました。
- 提出期限を守っていただけないことも多く、作業に手間取ったことも多々ありました。
- 理事通信は、広く情報が行き渡る様、レイアウト、ビジュアル化に配慮しました。また、統計資料を分析し、理事の視点を加えました。
- 事務の簡素化に努める覚悟で書記の任に着きましたが、実現できませんでした。今後、一層の工夫が求められます。

会計

会計 荻野 清(甲府21)

2022年7月1日から東日本区会計となり、事務所長とともに会計事務管理を行ってきました。円安が進み、国際への会費や献金の外国送金は、日本円に換算すると10%程度目減りし、増額出費となっています。中間会計監査は、数か所の細かな修正項目の指導を受けましたが無事終了し、安堵しています。

今後は、年度末決算書作成と会計監査に向けて、正確な会計事務管理を行います。

1. 区費納入状況

前期・後期合計は、11,016,500円となりました。

2. 国際・アジア太平洋地域との収支(外国送金等)

(1) 国際

国際会費:前期・後期合計:3,710,341円送金済み

YMIワールド補助金は、111,658円受領しました。

国際献金:2,253,782円(EF献金40,000円を含む)を送金予定

(2) アジア太平洋地域

①前期アジア太平洋地域会費:313,767円送金済み

後期:送金処理に必要なインボイス(請求書)を国際本部に依頼中(774名×3ドル=2,322ドル 約31万円見込み)

②アジア太平洋地域災害緊急支援金:210,959円送金済み

③YES献金:200,464円を送金予定

3. 各種献金の状況

(1) 各種献金

全クラブからの各種献金合計は、4,017,242円でした。ご協力に感謝申し上げます。

	一人当たり目標金額	目標金額	献金額	達成率	達成クラブ数
BF	2,000	1,484,000	925,852	62.4%	27
TOF	1,300	964,600	760,285	78.8%	35
CS	1,250	927,500	879,905	94.9%	40
ASF	500	371,000	262,150	70.7%	31
FF	500	371,000	254,150	68.5%	29
RBM	800	593,600	449,000	75.6%	29
YES	500	371,000	246,650	66.5%	29
ユース支援	500	371,000	239,250	64.5%	28
全種目合計	7,350	5,453,700	4,017,242	73.7%	

(2) ネット献金は、297,600 円でした。その内 74,600 円を国際へ献金します。

国内・絵本	国内・東日本大震災	国際・プロジェクト	国際・登録料	合計
161,000	62,000	54,000	20,600	297,600

4. 各種募金の状況(2023.5.10 現在)

- (1) ミャンマー募金・・・前年度支援後の残高 22,000 円
- (2) ウクライナ募金・・・前年度支援後の残高 232,165 円(今期中に YMCA 同盟へ送金予定)
- (3) トルコ・シリア地震緊急支援募金の残高 0 円

今期合計 701,320 円+JEF 献金 298,680 円=100 万円を YMCA 同盟経由で送金しました。

5. ユース事業関連会計の特別会計への移管を年度末決算へ組み入れ

- (1) 経常会計からユース事業ファンドへ 100 万円移管
- (2) FF ファンドからユース事業ファンドへ 50 万円移管
- (3) FF ファンドから 993,383 円を CS・Y サ・ASF 資金へ移行

6. 期末監査

2023 年 7 月 21 日(土)日本 YMCA 同盟内(東日本区事務所)にて期末監査を受けました。数か所の修正指導を受け訂正し承認されました。

7. 反省点・・・YVLF 負担金復活への PR 不足

前年度中止していた YVLF 負担金が今年度復活したが、支払いに気が付かないクラブが多く発生しました。会計担当として、今一步踏み込んだ周知活動が必要だったと反省しています。なお、5 月 10 日現在では、全クラブが支払済となりました。

地域奉仕・YMCA サービス事業

地域奉仕・YMCA サービス事業主任 小山久恵(東京サンライズ)

1. 主題:「つなげていこうワイズの心」

事業主任もトロイカ体制を取り入れました。前年度の主任の活動を引き継ぎ、また次年度にバトンタッチをしていくというやり方です。今年度は、前年度と前々年度の主任さんに委員になっていただき、疑問点や意見を聞きました。一方、4 事業主任とは連絡を密に取り合い、情報を共有するという最初の方針は実行されませんでした。早い段階でお声がけすればよかったなどと反省しています。

2. 活動報告

第 1 回地域奉仕・YMCA サービス事業委員会 8 月 9 日(火)出席者 9 名 オブザーバー 3 名

- 各クラブのほとんどが CS 活動をしている。環境問題に取り組んでいるクラブは少ない。9 月にワールド

クリーンアップデー、4月にはW4Wがある。

- プロボノリスト作成:直前事業主任から詳しく説明がなされた。
- YMCA に所属しているボランティアリーダーの方々に対して表彰することを実現したい。

第2回地域奉仕・YMCA サービス事業委員会 10月21日(金)出席者4名

- 環境問題への取り組み:ワールドクリーンアップデーの報告提出はあずさ部のみであった。W4Wは、あずさ部と東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリングが報告を提出した。
- プロボノリスト作成:何のために作成するのかわからないという意見が出た。削除されたロースターの個人情報とどう違うのか。リスト作成の注意点、この次の段階の取り決めが大事である。
- 災害時のガイドライン:今年度も実施できなかった。

第3回地域奉仕・YMCA サービス事業委員会 11月29日(火)出席者7名

- プロボノリストの原点の「人材データベースの構築」については2018-19年度第3回東日本区役員会にて第13号議案として、大久保CS・Yサ事業主任より提出され承認されている。キャッチコピーをそれぞれで考えてくる。来期からの運用を目標にフォーマットを作り、主査からは、各部のメンバーに予告として、プロボノ・ボランティアリストの作成を準備していることを話してもらう。
- その他:あずさ部板村哲也CS・Yサ事業主査よりあずさ部上半期の活動報告が提出された。

第4回地域奉仕・YMCA サービス事業委員会 3月15日(水)出席者6名 オブザーバー1名

- プロボノ・ボランティアリストの説明文の書体を整えることを板村主査に依頼した。
- コロナ後の各部、各クラブのCS活動の実態調査

北東部 仙台クラブの風船布カバーで幼稚園支援を継続、石巻広域クラブはコロナ禍も各種継続中、ランドセルギフト等、宇都宮クラブのチャリティーランやバザー、那須クラブのアジア学院収穫祭

関東東部 東京グリーンクラブの神田川船の会、東京江東クラブのワイズ杯サッカー、東京ひがしクラブの子ども食堂はコロナ禍も継続

あずさ部 甲府3クラブの山梨YMCAバザー、松本クラブのアジア賞留学生作文コンテスト、東京たんぽぽクラブのliby支援コンサート

東新部 東京クラブのチャリティーランはオンライン上で、江戸城ウオーク(レクチャー後に小グループで散歩)、東京多摩みなみクラブのオンライン講座、東京世田谷クラブ、東京町田コスモスクラブの歌の会

3. 評価・問題点

コロナ禍にもかかわらず、例年通りの活動を続けているクラブがかなりの数あり、嬉しく思いました。

コンピュータの扱いに慣れないため、情報が入って来なくなり、コロナ前の活動ができなかったメンバーもいたことが残念です。

4. 次年度への期待

プロボノの実施、災害のガイドラインの講習

YMCA でボランティアを行った若い人を表彰

会員増強事業

会員増強事業主任 佐藤節子(厚木)

佐藤理事の主題「未来に向けて今すぐ行動しよう」のもと、会員増強事業主任の主題として「楽しく会員増強の『タスキ』をつなげよう」を掲げて委員一同、一生懸命取り組みました。

2022年7月1日会員数770名でスタート。2023年4月30日現在、770名

1. 委員会の開催

事業主査、各部のエクステンション委員長、Change! 2022 推進委員長(12月解散後はオブザーバー)を中心に、拡大 EMC 会員増強事業委員会を、原則隔月ですが、毎月に近い計7回(8月、9月、11月、1月、3月、4月、5月)開催しました。

2. 委員会の活動

- ① 入会しそうな候補者のリストアップ(仕分けづくり 期間7月1日~9月15日迄)の作成
Aプラン:YMCAの関係者・退職者・OB・OG・取引業者・利用者等のリストアップ
Bプラン:知人・友人(少しだけの知り合いも含めて)及びその紹介者からの聞き取りリストアップ
Cプラン:専門技術・技能をお持ちの方等人材(プロボノ)を重点化してのリストアップ
- ② 100日間会員増強キャンペーン 前倒しし、11月15日から行動開始
9月1日~12月6日、A・B・Cのリストアップ作戦のスタート。めざせ会員増強
- ③ 新クラブ「甲府やまなみクラブ」が9月3日にチャーターされました。11名

3. 各部活動の状況ピックアップ

- ① 関東東部:部を3つに分けて活動。ノンドロップ運動を柱にしたい。茨城クラブを強く支援したい。
- ② 東新部:新クラブ設立(候補新宿早稲田、新潟)を重点に計画中。東京北クラブの解散に伴い継続できる方の転入先クラブを支援
- ③ 湘南・沖縄部:エクステンション委員会では、Change2022!が12月で終了しましたが、半年間6月まで部独自に延長しました。川崎保育園周辺に新クラブ設立に向けて模索中

4. ワイズメンズクラブのPR 認知度を高める戦略手段として

- ① ポスター作戦:ポスターを作成して各都市のYMCAに配布しました。
- ② YMCA発行機関紙にワイズの活動記事を掲載して頂けることになりました(一部先行実施中)

5. 成果と今後の課題

成果:入会者は40名ありました。

甲府やまなみクラブの設立により会員も増え、クラブ数も増えました。設立準備に3年半関わられた方たちの達成感は一塩だったと思います。お疲れさまでした。

課題:しかし、退会(休会)者が88名ありました。

会員数を維持する施策に早急に取り組む必要があります。

模索:入りたくなるクラブづくりなどなど

申し送り:表彰等を定める任務と、会員数の把握、出席率報告等早めに対応した方がよいです。私は出遅れてしまい、各方面にご迷惑をかけてしまいました。

国際・交流事業

国際・交流事業主任 利根川太郎(川越)

1. 2023－2022 年度の主題と活動方針

年度当初に以下の主題と【活動方針】を掲げて、国際・交流事業に取り組んで参りました。

主題: 未来に向けて、世界に繋がり奉仕活動を活性化しよう

副題: ～国際・交流事業に興味関心を持ってもらえる情報提供～

【活動方針】

ワイズ 100 周年の記念の年に当たり、ワイズメンズクラブ国際協会と私たちの活動の繋がりを、もう一度会員の皆さんと共に確認し紡いでいく端緒としたいと思います。そして、国際・アジア太平洋地域の最新の情報を各クラブに届けて、国際的な活動を身近に感じられるような工夫をしていきたいと思ひます。

また、TOF、RBM、BF 等の海外の活動をよりわかりやすく伝えることで、国際的な働きを見える化して国際献金への参加促進を図っていくことを目指します。

交流促進については、IBC、DBC の活動の活性化を支援する工夫をして、新たな締結促進に繋げていきたいと思ひます。

東西日本区設立 25 周年の年でもあり、国内の会員相互の交流を促進し、区および部、クラブレベルの活性化をしていきます。

2. 2022－2023 年度の活動報告

(1) 国際・交流事業委員会

第 1 回国際・交流事業委員会 7 月 23 日 BF 献金使用済み古切手収集について

第 2 回国際・交流事業委員会 9 月 4 日 BF 使用済み切手の取扱い

第 3 回国際・交流事業委員会 10 月 23 日 東西日本区交流会について

第 4 回国際・交流事業委員会 12 月 1 日 DBC プロポーズ大作戦について

第 5 回国際・交流事業委員会 1 月 9 日 東西日本区交流会について

第 6 回国際・交流事業委員会 1 月 29 日 100 周年記念祝賀会について

第 7 回国際・交流事業委員会 2 月 23 日 100 周年記念祝賀会について

第 8 回国際・交流事業委員会 3 月 27 日 第 3 回東日本区役員会について

第 9 回国際・交流事業委員会 5 月 11 日 表彰および年次報告について

第 10 回国際・交流事業委員会 6 月 22 日 2022-23 年度振り返り、次年度への引継

・委員会の主な議題は上記のとおりですが、各部主査からの報告や BF 代表の日本訪問予定、理事およびキャビネットからの情報提供など適時に情報共有しました。

(2) Building Fellowship

・BF 代表の日本訪問は、予定されていた 10 月末からの日程がコロナの影響で延期され、残念ながら中止となりました。

・BF 使用済み切手の集積方法を改めて確認し、わかりやすくまとめて理事通信で広報すると同時に、東日本区ウェブサイトに掲載しました。

(3) 国際献金等の説明

- ・国際献金の概要について 2021－2022 年度のものを改定して理事通信に掲載し東日本区ウェブサイトにも掲載しました。

(4) TOF(Time of Fast)、BF(Building Fellowship)、EF(Endowment Fund)

YES(Y's Extension Support)、RBM(Roll Back Malaria)

- ・それぞれの強調月間等に合わせ、概要および最新情報を理事通信に掲載しました。YES 基金については東日本区ウェブサイトにも公開しています。

(5) DBC 締結

- ・千葉ウエストクラブが、東京西・京都ウエスト・大阪西・神戸西・熊本にしの各クラブと DBC を締結してヘキサゴン DBC を形成しました。

(6) 東西日本区交流会

- ・東日本区から 130 名の参加者を得て、2 月 4 日、5 日に神戸クラウンプラザホテルにて開催されました。国際・交流事業委員会は 3 回の委員会において参加募集と懇親会プログラムについて協議、報告し、各部主査の協力で広報に努めました。

(7) YMI100 周年記念祝賀会

- ・3 月 10 日～12 日の 3 日間、台北市において開催され、東日本区から 24 名が参加しました。直前までコロナの影響があり、多くの参加者とはなりませんでしたが、各部主査のご協力と TC のご尽力がありました。

3. 2022－2023 年度の課題と次年度への引継ぎ

- (1) 日本のクラブと IBC を結んでいる海外のクラブによる協働のプロジェクトを、HTW や TOF に結びつける方法の模索は、端緒がつかめませんでした。既存のプロジェクトでマッチするものを探したり、新規立ち上げを働きかけたりするなど、今後の課題です。次期の国際・交流事業委員会に引き継ぎました。
- (2) IBC の締結はありませんでした。IBC や DBC の交流の実際を紹介する試みは、各クラブからの広報に留まり、国際・交流事業として組織的な取組はできませんでした。適時の案内が難しいことが課題です。
- (3) ミャンマーのワイズメンズクラブの情報が無く、支援に繋げることができませんでした。

ユース事業

ユース事業主任 衣笠輝夫(埼玉)

1. 年初の目標

主題:「YMCA と協働しユースの育成を」

事業方針:

- (1) 今年度はワイズと YMCA との協働をさらに深める年度とし、Y's×SDGs ユースアクションチームへの支援、第 34 回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)開催、IYC(インターナショナル・ユースコンボケーション)へのユース派遣、Y's×SDGs ユースアクションと連動した第 9 回 OFY(オープンフォーラム Y)の開催等を中心に企画する。
- (2) ユース事業委員会の運営は若手ワイズの経験・活躍する場とし東日本区ユース代表にも参加してもらい、各部のユース事業主査、ユース委員との活発な議論の場としたい。

- (3) 東日本区大会の「ユースアワー」は前年度同様に代議員会と重複しない時間帯とし、多くのユースとワイズメンの交流の場としたい。

2. 成果概要

(1) インターナショナル・ユースコンボケーション

2022年9月4日～9月9日 タイ・チェンマイ

3都市 YMCA(とちぎ・埼玉・山梨)との協働により、ユーススタッフ3名と中央大学学 Y2名の計5名(西日本から1名、日本から計6名)を派遣することができました。

東日本区 WEB サイト収容の報告書参照

(2) 第34回ユースボランティア・リーダーズフォーラム

2022年9月30日(金)～10月2日(日) 東京 YMCA 山中湖センター

ワイズと YMCA の協働事業であるこのフォーラムに、厳重なコロナ感染対策を強いたにも拘わらず、盛岡、仙台、とちぎ、ぐんま、埼玉、千葉、東京、横浜、山梨の各 YMCA から28名のボランティアリーダー、5名のカウンセラー、3名の YMCA ユーススタッフ、東京 YMCA スタッフ2名が参加して行われました。

東日本区 WEB サイト収容の報告書参照

(3) ユースアクションチーム活動内容の共有と拡散としての第9回オープンフォーラム Y

5月20日(土)10:00～17:00 日本 YMCA 同盟会館 リアルおよび Zoom 併用ハイブリッド

第4回ユース事業委員会から従来型「オープンフォーラム Y」から「Ys×SDGs ユースアクション」チームの活動報告に連動したフォーラムの検討を開始。2023年1月の第7回ユース事業委員会から4月の第10回委員会までに7チームから活動報告を聴き、その内容を共有しました。これをベースに第9回オープンフォーラム Y を企画・開催しました。

(4) 一般社団法人としてユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)助成金申請

法人推進委員会から助成金申請についての紹介を受けて、初めての試みである YVLF 助成金申請の検討を開始。東京 YMCA からの YVLF 見積書を受けて、申請の準備を行いました。

(5) 東日本区大会でユースアワーを第1日目(6月3日)17:30～18:30に実施

山梨 YMCA のユースアクション活動報告および松本クラブ推薦のマレーシア・ベトナム留学生の報告がなされ、多くのワイズが参加しました。

(6) アジア太平洋地域ユースコンボケーション 2023(AYC)の準備

2023年8月25日(金)～29日(火)ネパール・カトマンズで開催される AYC に向けての登録受付は2023年5月1日～6月30日であったが、その後、登録受付締切りは8月10日に延期されました。東日本区から13名、西日本区から4名、計17名が日本チームとして参加する画期的な AYC になりました。区の支援(2万円/人)に加え、参加ユースの推薦・費用の支援を各クラブに要請(2万円/人)すると共に、JEFからの補助金(4万円/人)も申請しました。また、事前説明会を4回行い、情報の共有を図っています。

3. 問題点

(1) ユース支援献金(500円/人×ワイズ人数)のさらなる PR が必要

2022-2023年度のユース支援献金は目標に対して約60%の成果であった。ワイズメンのより多くの理解を得るために、次期は、さらなる PR が必要です。

4. 引継事項

- (1) ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)助成金申請・受取は今年度は間に合わないので、2023-2024年度中に、申請先を決定し、申請書を提出し、2024-2025年度の YVLF に反映させるべく準備が必要です。

- (2) 2023-2024 年度のワイズ・YMCA パートナースHIP委員会の Y's×SDGs ユースアクションへの動向に注目し、継続して「ユースアクション」の協働と拡散・支援を行なえるようユース事業委員会で検討することが必要です。

<参考> ユースアクション 1 年目

ユースアクションは、ワイズメンズクラブ東日本区、西日本区、そして全国 YMCA が協働して始められたプロジェクトである。ワイズの年度では、2 期にわたるもので、今までに例のない 3 団体による特別委員会が作られ実施された。ねらいとしては、SDGs の分野の働きを各地域でユースのグループが提案し、2022 年 2 月に募集締め切り、審査会を開催し、応募 18 プロジェクトの内、10 プロジェクトを選考して、2022 年 4 月から活動が始められた。10 プロジェクトには、最大 20 万円の助成金をワイズと YMCA から集められた資金から助成されている。2022 年 9 月に中間報告としてそれぞれの報告が行われた。初年度に行われた 10 のプロジェクトは、2023 年 1 月末まで実施され、報告書、決算書などを 2 月末に受け取った。2023 年 2 月に行われた東西交流会(神戸)や 6 月の東日本区大会でもいくつかのプロジェクトが発表され、改めてこの活動の意義が確認された。

記録として残すためにも、いくつかの事例を紹介したい。

- (1) 山梨 YMCA ユースリーダー会:「“やまなしアクション”として多くのユースを動員して「ただいま清掃中」というゲームを行いながら清掃運動を拡げた。
- (2) 中央大学 YMCA ひつじ雲:月に 1-2 回、20 人位が 1 時間かけて大学周辺のゴミ拾いを行い、ゴミマップ、ゴミの量の分析、他団体とのコラボを試みたりして活動をした。
- (3) サラマツ絵本プロジェクト:フィリピンでは小学生の卒業率が 65%という地域もある。埼玉県内の大学生が卒業後も希望をテーマに絵本を作り、楽器の寄贈も行った。
- (4) 盛岡 YMCA 子ども人権プロジェクト:弁護士の協力も得て、人権について集まった標語で人権カルタを作り、カルタやワークショップを通して学童プログラムの開発を試みた。
- (5) 富士宮高校(静岡県富士宮市):ニジマス養殖の残渣を肥料にして、小学生と共に耕作放棄地をよみがえらせる運動に展開させた。SDGsを小学生に普及する試みであった。
- (6) とちぎ YMCA つばみ高校生グループによる子ども食堂:毎月 1 回、子どもの貧困解消を目指して子ども食堂を高校生 50 人で実施してきた。今後は学習支援も検討している。

(山田公平記)

北海道部

北海道部部长 小谷和雄(札幌北)

<部長>

① 部長主題

「出来ることから今すぐに行動しよう！」

② 北海道部目標達成状況

上半期は順調に推移出来ましたが、後半は遅れ気味、目標達成は出来無かった方が多かったです。今年度新規目標とした「毎月ニュースレター発行」は目標達成し、好評でした。

③ 部会概要

2022年8月27日(土) ハイブリッド方式にて、札幌 YMCA を会場に開催。出席者(対面 14 名+Web2 名)。コロナ禍でなければ対面式1本で実施したかったです。

④ 部評議会

第1回:2022年8月27日(土)、札幌 YMCA にて開催。出席者(対面 14 名+Web2 名)。部大会と同日で、部会の前に開催。2023年5月13日(土) 第2回評議会・研修会は予定通り実施出来ました。

⑤ 部の主要活動

チミケップキャンプ場ワーク:7月16日、キャビンの防腐剤塗布と棧橋補修を実施。2023年6月に2回目のワークを予定でしたが、熊の出没で、7月に延期・実施しました。

⑥ クラブ公式訪問

札幌クラブ:8月と11月以外は札幌北クラブと合同例会として参加・出席しました。

北見クラブ:2022年9月30日(土)訪問

十勝クラブ:2022年9月19日(月)訪問

上期は予定どおり訪問できました。下期に2回目の訪問を予定したが日程が合わず実施出来ませんでした。

⑦ クラブの状況概要

札幌クラブ:11月はイベント多数に付き例会は中止。毎月例会はゲスト卓話中心に開催。対面例会を中心に Web 参加もできる例会でした。

北見クラブ:例会の中で全体計画・予定等を決め実施。9月は京都のDBCクラブ歓迎懇親例会を開催しました。

十勝クラブ:毎月卓話を中心の例会。次期東日本区大会準備打ち合わせ等の例会。5月には例年どおり、山菜例会を開催しました。

札幌北クラブ:7月キックオフ例会にてゲストスピーチ例会を開催、11月は単独例会にて、今年度末にて「解散、札幌クラブと合併」を決議し、6月末にて解散となりました。

⑧ その他 評価反省:

上半期はほぼ順調に推移しましたが、下半期は準備時間不足となり問題が残る年度となりました。

毎年課題の会員増強については、逆に1クラブ減、4名減となっていました。高齢化はどのクラブも同じ問題ですが、若手メンバーの確保が出来なかったことが原因と思われます。

北海道部としてロードマップの基本計画作成を予定していたが、気持ちだけで作成出来ませんでした。

今でも「仕事を持っているから出来なかった。」と、言い訳をする積もりはありませんが、それでも、一人事務所の慣れない会計を預かれば、仕事に穴を空ける訳にもいかず、オーバーワークであった事は事実。寝不足でした。能力不足でした。

北東部

北東部部長 大久保知宏(宇都宮)

部長方針

私は主題を「クラブのミッションを育てよう」としました。自分たちのクラブを見つめなおして、今あるミッションを育

てる努力、新たなミッションを見つける努力をしていきたいと考えています。

目標達成状況

部として部交流委員会、部ユースアクション委員会、部ファンド委員会を新設して運営しようとしたが、コロナの影響から実施に至りませんでした。また、会津クラブの再開、とちぎグローバルユースクラブ設立、仙台ワイズメネットクラブ設立を期中に目標設定しましたが、端緒についての完成には至っていません。

部大会概要

2022年12月3日(土)13時から昨今のコロナの流行を踏まえ Zoom にて北東部部大会が開催されました。当日は19名が参加しました。



評議会

第1回7月23日開催(12名出席、28名委任状)予算承認、第2回11月19日開催(18名参加、20名委任状)状況報告、第3回4月15日開催(11名参加、22名委任状)次々期部長審議

主要活動

福島市に新クラブを設立することを目指し、キーマンとの1回目の打ち合わせを行いました。

クラブ公式訪問

2022年7月12日 宇都宮クラブ例会
2023年1月26日 仙台市で開催された宮城県内4クラブの合同新年例会
2023年4月17日 宇都宮東クラブ例会
2023年5月20日 那須クラブ

クラブ状況

仙台青葉城、もりおかの両クラブは新入会員もあり、若返りが進んでいます。一方、宇都宮、仙台クラブでは高齢化による会員減少が発生しています。

その他

次期も部長を継続することになり、今年度の目標を引き続き実現を図るよう努力いたします。

関東東部

関東東部部長 工藤大文(東京ベイサイド)

1. 部長報告事項

- ① 部長主題●主題「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し、効率を重んじる。すべては、プレミアムな価値

と体験を産むために。●副題「SDGsって何だろう？ 無理なく継続的な発展が世界に訪れ、あらゆる人が幸せになる未来とは」

② 部の目標達成状況

コロナ下で、具体的な目標設定は行いませんでしたが、経過としては中途半端な状況になっています。

③ 部大会概要

10月1日(土)10:30~13:00 Zoom によるリモート開催

新しい、CS 活動を行うためのディスカッションを行いました。

④ 部評議会

第1回 2022年7月23日(土) 9:30~12:00 Zoom によるリモート開催

今期の各クラブの方針共有と、今期関東部の活動方針を中心に行いました。

第2回 5月20日

⑤ 部の主要活動

部改善委員会の発足と議論、関東東部継続的な発展のための議論を行いました。結論を見ることはできませんでした。

⑥ クラブ公式訪問

下記、訪問を行いました。

■江東クラブ例会 9月15日 新入会員2名の司式を行いました。

■東京グリーンクラブ 3月21日 東京グリーンクラブ50周年記念例会

⑦ クラブの状況概要

各クラブ、コロナ下において再始動、活発に活動を行えましたが、東京北クラブの解散に関しては、残念ながらお知らせとなりました。

⑧ その他 評価反省、問題点等

工藤自身の多忙のために、部として大きな活動を行うことができませんでした。部則の検討、改訂等は次期へと送りたいと思います。

2. 事業主査報告

【ユース事業報告】衣笠主査

下記のとおり、活発に活動を行うことができました。

(1) インターナショナル・ユースコンボケーション 2022年9月4日~9月9日

(2) 第34回ユースボランティア・リーダーズフォーラム 2022年9月30日(金)~10月2日(日) 於:東京 YMCA 山中湖センター

(3) ユースアクションチーム活動内容の共有と拡散としての第9回オープンフォーラム Y を計画。5月20日(土)

(4) 一般社団法人としてユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)助成金申請

【CS 事業報告】山崎主査

以下の3CS 事業が新規 CS 事業として立ち上がり、好評を得ました。

■事業名称「江東ワイズ もみの木プロジェクト」主催者 東京江東ワイズメンズクラブ

事業計画

・枯れてしまったもみの木を植え替え、こどもたちのクリスマス行事のためのシンボルツリーを植樹し、永年的に樹を管理するプロジェクト

■事業名称:テレジンの小さな画家たちのお話会 主催:所沢ワイズメンズクラブ 共催:(財)埼玉 YMCA・(一

社)ジョイサービス

事業計画

野村路子氏を囲んで、平和について考える。

■事業名称:夏見のおうち子ども食堂 主催者 船橋で地域と子どもたちの居場所をつなぐ「ふなばし子ども食堂ネットワーク夏見のおうち子ども食堂 応援団(千葉ウエストワイズメンズクラブ)

事業計画

上記の主催者を応援するために、調理備品を支援したい。

【EMC 事業報告】金丸主査

下記、報告のとおり、プラス5名の増員となった。

■入会(再入会含む)=7名/敬称略

東京江東:堀 公也(9/15)、滝沢圭太(9/15)

千葉:廣田光司(4/1)、池田信成(5/13)

埼玉:伊藤澄夫(7/25)

東京ひがし:田島和子(4/13)

茨城:大澤篤人(4/14)

■退会(逝去)=2名

千葉:石丸隆章(4/1)

東京グリーン:布上征一郎(11/13)

東新部

東新部部长 深尾香子(東京多摩みなみ)

① 部長主題 ALL 東新部、始動!「Change! 2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」

② 目標達成状況

今年度の東新部はクラブ毎に考え行動するだけに止まらず、会長・役員間の情報交換の頻度が上がり、助け合えるところを見つけて、声を掛け合い、行動する事が出来ました。結果、部全体の活力が増加し自信になり、次なる発展を確信する声が聞かれるようになっていきます。コロナ禍によるマスク解禁を控えた第3回評議会において、次年度もこの体制が引き継がれることに決定しましたが、期待値だけでなく実績も積み上がると考えています。

③ 部大会概要

10月8日(土)13:30~16:40、在日本韓国 YMCA アジア青少年センター(AYC)9F国際ホール

リアル出席は 47 名、オンライン Zoom での出席は 12 名、計 59 名

「海外にルーツを持つ子どもたちへの支援について」子ども、親、制度、母国への誇りの 4 つの視点から ALL 東新部で今後継続的に取り組む事業について、学びの機会を持ちました。

④ 部評議会

第1回 2022.07.23 オンライン 参加者 30 名(他に委任状 3 名)

・昨年度第3回議事録、資料提出が間に合わず後日臨時開催とする。

第2回 2022.11.26 オンライン 参加者 27名(委任状4名)

- ・「東新部 EMC セミナー(2/25 実施)」時に、部の将来について議論を行う。
- ・役員活動費。予算を越える支出が「なり手」を阻んでいることに注目し、改善に取り組む。
- ・部事務局設置。現財政では雇用が困難なため常任は見送るが、情報化対応の遅れを直視し、必要に応じて「副書記」を置きキャビネットの負担軽減を図る。
- ・東京センテニアルクラブからの現況報告と支援を求める声に応じ、連携を継続、強化する。

第3回 2023.04.24 東陽町センター 参加者 32名(Zoom5名、委任状8名)

- ・「東新部 EMC セミナー」の結果を受け、2クラブの統合について進捗状況を報告。年度末に向け東日本区への報告を済ませ、新年度より活動開始予定。
- ・役員活動費:部則検討委員会を設置。年度末～次年度始めに具体案の承認を目指す。
- ・次期部長は、今年度方針を継続発展し、ALL 東新部の視点で部の運営を実施する。

⑤ 部の主要活動

部長通信改め「東新部会長会」を月例開催し、年初に掲げた活動計画を進めました。(詳細は⑧にて) 部報1号は年初7月に発行。2号は役員による年度末の報告を経て、8月末発行の予定。

⑥ クラブ公式訪問

東京 7/12 2/21 東京むかで 7/26 2/28 東京世田谷 7/15 2/23

東京町田コスモス 7/4 2/18 東京センテニアル 7/14 3/22

東京多摩みなみ 7/5 2/13 東京町田スマイリング 7/4 1/15

⑦ クラブの状況概要

東京 伝統と格式の中、新入会者の取り込みが遅れていたが会員増強主査の働きにより上向き傾向
東京むかで コロナ禍により野尻キャンププログラムへの影響が大。その間、記念誌作製に注力中
東京世田谷 歌声ひろばの再開と共に復調傾向。リピーの受入に伴い新たな YMCA サービスを検討中
東京町田コスモス 科学実験教室、ベテランティア共に復調傾向。だが新入会員の増加は苦戦
東京センテニアル 在日本韓国 YMCA の閉館に伴い、新たな支援先、活動方針の検討が必要
東京多摩みなみ オンライン講座を継続し CS・Y サを継続するも、地元一般人の取り込みには苦戦中
東京町田スマイリング コロナと、会員減のため同等の歌声事業に戻すのは難しいが、部役員として複数人が活躍中

⑧ その他 評価反省、問題点等

【東新部会長会の開催】

毎月開催達成(全て Zoom)。次年度も継続

【メネットとワイズウィメンによる交流会】

Zoom、対面共に開催出来。家族目線での課題発見有り、次年度に引継ぐ方向で。

【ワイズ理解の促進(友の会、広義会員など)】

毎月開催達成。複数企画が立ち上がり、他部ワイズの参加実績に繋がりました。

【プロボノ発掘(新たな連携への調査、研究)】

緩やかな自薦他薦が可能になり、複数の人材発掘を達成。次年度も同様の継続が望めます。

【CS、Y サ事業の精査】部長公式訪問、会長会による情報収集まで。丁寧な聞き取りと共有が課題

【Y's × SDGs Youth Action2022 への協力】

対象団体との打合せ、訪問を重ねて信頼関係を築き、次年度の継続が決定

【地域団体との人脈構築～広報活動へ】コロナ禍の落ち着きに伴い、以前の状況へ回復の兆し

新規に広報活動に取り組んだのは1クラブだが、市民による任意団体でなく法人の場合は行政との連携が望ましいとのことで、窓口を紹介された。区法人推進委員会への相談等、再検討が必要

【学び①ひとりひとりに合せたスキルアップ】

部 LT 委員会主催の情報交換から、新企画の試行を実施～他部ワイズの参加有り

【学び②災害時の身の処し方】

部 LT 委員会主催の情報交換から地域への視点は拡大したが、従来の年間計画では、YMCA 協働についての学びの機会を持つ事が出来ず、区主催企画になる事を期待します。

あずさ部

あずさ部部長 後藤明久(富士五湖)

部長主題『ワイズへの参加と交流を楽しもう』

〈副主題〉とにかく参加しよう、リアルとズームで行動し発信しよう。

部大会、評議会ともにリアル開催でき、コロナ以前のワイズ活動に戻りつつあります。部長公式訪問もほぼ回りました。どのクラブもリアル開催するようになり、交流が進んでいき、ワイズ活動が発展していくものと信じます。

10/15(土)あずさ部大会&富士五湖クラブ 20 周年記念例会、忍野村いちい亭

久しぶりに75名の参加者、料理、酒、アトラクション、尾崎夫妻の歌、全て大満足の部会・祝会でした。

7/16(土)第 1 回あずさ部評議会「うぶごえが聞こえる評議会」をリアル開催

ホスト東京西クラブ、東京 YMCA 山手センター

コロナの影響もある状況で、約 58 名の参加者でリアル開催ができたことは良かったです。

2/11(土)第 2 回あずさ部評議会「厄除け評議会」ホスト甲府クラブ、談露館

前日の大雪(山中湖で 40cm)で、前日午後 1 時から 11 日早朝まで、山梨県は陸の孤島となりました。

11 時から約 60 名の参加者で無事に開催されました。

あずさ部活動報告

7/5(火) 甲府 21 クラブ公式訪問、岡島ローヤル会館

7/8(金) 富士五湖クラブキックオフ例会 富士吉田市ふれあいセンター

7/9(土) 東日本区役員会、ズーム開催

7/12(火) 甲府クラブ公式訪問、ホテル談露館

9/3(土) 甲府やまなみクラブチャーターナイト、ホテル談露館

9/4(日) 東日本区ユースアクション中間報告、ズーム開催

9/24-25(土日)富士五湖クラブ公式訪問、日本一高い所での富士山例会、佐藤小屋
10/8(土)東京八王子クラブ公式訪問、八王子市北野事務所
11/3(木)山梨 YMCA チャリティーバザー、山梨 YMCA
11/5(土)第2回東日本区役員会(ズーム参加)
11/17(木)東京西クラブ公式訪問(部長コロナ感染、原夫妻代理参加、再訪問予定)
11/18(金)富士五湖クラブ 尾崎時恵さん入会式、原別荘
12/4(日)次期部長研修会(ズーム参加)
12/7(水)甲府やまなみクラブ公式訪問、談露館
12/17(土)松本クラブアジア賞授賞式公式訪問、松本駅前会館&ルフラン
1/10(火)山梨県4クラブ合同新年例会、談露館
1/20(金)あずさ部 CS 助成金打ち合わせ(ズーム)
2/4-5(土日)第3回東西交流会、神戸
3/7(火)甲府21クラブ例会訪問(入会者4名立会い)、山梨 YMCA
3/9(木)御殿場クラブ例会訪問、東山壮、望月勉「お金」卓話
3/10(金)富士五湖クラブ例会、甲府クラブ田中会長卓話
3/11(土)東京たんぽぽ Y サービスクラブ公式訪問、東京 YMCA リビィーコンサート
3/18(土)東京サンライズクラブ公式訪問、お散歩例会
4/20(木)東京西クラブ公式訪問、ウェルファーム杉並、二俣裕美子「音楽療法」卓話
4/29(土)第12回障がい者フライングディスク大会(富士五湖)
4/8-9(土日)第3回役員会、山梨 YMCA
5/13(土)第3回あずさ部評議会開催
6/2(金)第4回東日本区役員会
6/3-4(土日)第26回東日本区大会、甲府21クラブホスト
6/10-11(土日)第26回西日本区大会、熊本むさしクラブホスト

〈今後の予定〉

部長公式訪問 長野クラブ 日程が合わず未訪問、次期あずさ部大会に訪問予定

〈現状と今後の課題〉

東日本区全体で、どのクラブも高齢化と会員減少でワイズメンズクラブ活動の危機といえる状況です。全体として各クラブ独自の活動を頑張って続けています。会員が多いクラブも、実質的に活動している会員は決まっています。今後のワイズ活動の拡がりを目指すための方法や方針を持っていかなければいけない時といえます。まずリアルでの交流を重視してワイズ活動の再盛り上がりを期待したいです。

部長輪番制のあずさ部でも、高齢化と会員の少なさで部長を引き受けられないクラブも出ています。ワイズの信条の義務とワイズの寛容さのはざまに揺れている現状です。まず自クラブ現状を正確に把握し、例会と通常行事、評議会、部大会、さらには他クラブのイベントに積極的に参加して、より交流を深め、自クラブの活動に反映させていく。コロナでできなかった交流を重視した活動を再開させてクラブ活動を再稼働させていきたいと思えます。皆でワイズ活動を楽しみましょう。



あずさ部第1回評議会



甲府やまなみクラブチャーター



第18回富士山例会



あずさ部部大会



東西交流会



あずさ部第2回評議会

湘南・沖縄部

湘南・沖縄部部长 小松仲史(厚木)

【部長主題】

主題:楽しく・元気よく・前向きに

副題:入りたくなるワイズにしよう

【湘南・沖縄部 目標達成状況】

・湘南・沖縄部の名称にも関わる事態が発生しています。沖縄ワイズメンズクラブが正式に西日本区に転籍、2023年1月28日にチャーターナイト開催、現在沖縄部設立を目指し活動しています。湘南・沖縄部ではその動向を当面静観することになりました。

・川崎保育園に新しいワイズメンズクラブを設立すべく活動を継続中です。

2023年6月時点の会員数状況

クラブ名	目標	2023年6月現在	今後の可能性	
横浜クラブ	18名	12名	+2名	
鎌倉クラブ	10名	10名		目標達成
横浜とつかクラブ	20名	11名	進展なし	
厚木クラブ	20名	13名	+2名	
金沢八景クラブ	15名	12名	+1名	

横浜つづきクラブ	20名	16名		
横浜つるみクラブ	15名	12名	進展なし	

【湘南・沖縄部大会】

2022年10月22日 土曜日

15:00～17:30

場所：湘南とつか YMCA（出席 26名）

講師に「日本市民安全学会」副会長・理事の富田俊氏を迎え「テロ事件に学ぶ命の尊さ」あさま山荘事件から50年を語っていただきました

【部評議会】

湘南・沖縄部第1回評議会

2022年7月23日 土曜日

15:00～17:15

場所：湘南とつか YMCA・Zoom

（出席人数 12名+Zoom 11名委任状 10名）

- ・2021～2022年度事業報告（承認）
- ・2021～2022年度会計決算報告（承認）
- ・2022～2023年度行事予定（承認）
- ・2022～2023年度個別行事について（部大会など）（承認）
- ・2022～2023年度予算（承認）
- ・次次期部長選出（横浜つるみクラブ・久保氏）
- ・エクステンション委員会・委員長・各委員および各承認済み諸議案の任期延長の件（承認）

湘南・沖縄部第2回評議会

2022年11月26日 土曜日

15:00～16:40

場所：横浜中央 YMCA9階チャペル及びZoom

（出席人数 12名+Zoom 6名委任状 11通）

- ・湘南・沖縄部とYMCA合同新年会：今年度は中止
- ・部大会報告
- ・東日本区役員会報告
- ・部長活動報告
- （チャリティーラン・AIDS文化フォーラム・横浜YMCAスピーチコンテスト等）
- ・部書記・会計からのお願い（提出期限を守って欲しい）
- ・各主査・委員会報告
- ・各クラブ会長活動報告
- ・YMCA報告

チャリティーランが10月15日に行われました。本年はリアルとオンラインのハイブリットで開催しました。ワイズの協力に感謝。2月6日のY-Ys協議会ではユースボランティア・リーダーズフォ

ーラムに参加したリーダーの報告

・監事講評

今回は対面のみの実施でお願いしたい。また、新しいメンバーに加わって欲しい。

湘南・沖縄部第3回評議会

2023年6月24日土曜日

15:00から17:00

場所湘南とつかYMCA+ZOOM

1号議案：新入会員の入会金(6,000円)を部で負担する・・・承認

2号議案：次年度の事業計画(案)・YMCA 会員大会は2月11日(日)ではなく2月12日(月)となった。10月の部大会は調整中

3号議案：次年度の役員について次期部長より発表があり、承認された

*監事講評：評議会への出席者が減少している、幹事の任期は1年で良いと考える、次期役員会で検討してほしい。

【部の主要活動】

湘南・沖縄部の部報を10月初めに発行。全11ページ

部長の自己紹介から始まり、横浜YMCA 総主事 佐竹 博さん「出会い・連帯・創造」、東日本区理事 佐藤重良さん「未来に向けて今すぐ行動しよう」、直前部長 若木一美さん、次期部長 黒川勝さん、部会計 日下部美幸さん(本年2月5日逝去)、部書記 板崎淑子さん、会員増強主査 佐藤節子さん、国際・交流事業主査 古賀健一郎さん、ユース事業主査 鈴木 茂さん、エクステンション委員会・委員長 辻 剛さん、地域奉仕・YMCA サービス事業主査 日下部美幸さん、メネット連絡員 若木祥子さん、YMCA 担当主事 阿部正判さん、監事 峯尾 舜さん、各クラブ会長からの寄稿。湘南・沖縄部の2022-2023年度行事予定、部会計報告、予算案など

【各クラブ公式訪問】

・7月2日土曜日：横浜とつかクラブ 横浜とつかYMCA で行われた総会を訪問。Zoom 会議が多い中リアル総会で大変勉強になりました

・7月3日日曜日：金沢八景クラブ ミニバスケットなど地元の青少年育成に力を入れた活動をしている。その中で年3回のトーナメントを開催その一つを2006年からワイズで行っています。

・7月22日金曜日横浜つづきクラブ 皆様クリスチャンで You&I コンサートを開催に向けて準備をしています。

・9月8日横浜クラブ 佐竹総主事による卓話「横浜YMCA とともに歩んでいただくために」でボランティア精神=仕える事、渋沢栄一が連れてきた青い目の人形が日本YMCA を作った~などの内容で勉強させていただきました。

・9月13日火曜日 鎌倉クラブ Zoom での訪問。鎌倉の歴史など勉強させていただきました。

・11月30日水曜日 厚木クラブ 2名(ご夫婦)の入会式がありました。

・2月9日木曜日 横浜つるみクラブ 皆さんで、たくさんピアノ伴奏で歌を歌い、小松はホルネで参加致しました。素敵な時間を過ごし、新しいワイズの在り方と思いました。

【反省・問題など】

会員増強に対しては様々な試みを行って来ましたが、中々実績が上がりにくい状況が続いています。2月の東西日本区交流会にてロータリークラブ・ライオンズクラブ・キワニスクラブ・ワイズメンズクラブのそれぞれの責任ある立場の方々のこれからのクラブの在り方について意見交換がされましたが、その中でロータリークラブの意見で、例えばスポーツに特化したクラブがあっても良いのではないかとの話に今後の突破口を見つけた気がしています。今後の会員増強、新クラブ設立に生かしていきたいと思っています。

富士山部

富士山部部長 前原末子(御殿場)

① 部長主題:「広めよう 地域社会にワイズの理念と奉仕を」

② 目標達成状況

今期前半はコロナウイルス感染拡大防止のために、今まで実施できていた地域密着の活動が制限されてしまいました。が、熱海クラブのドッチボール大会、沼津クラブの外国人参加の日本語スピーチコンテスト実施、伊東クラブは、市主催「タライのり競争」への協力、三島クラブは三嶋大社を会場とする「街中だかしや楽校」へ参加など。下田クラブはメンバーだけでなくビジターとともに「下田古道を訪ねて」と題し山道を歩き、御殿場クラブは、歴史ある東山荘・秩父宮記念公園周辺の清掃活動を実施しました。また、25年ぶりに行われた富士クラブの環境美化標語表彰式や標語看板取り付けおよびクリーン作戦、熱海グローリークラブの英語スピーチコンテスト 50周年記念行事、富士宮クラブは「環富士山名物グランプリ・富士の山かみ灯りコンテスト表彰式」、「富士山精霊流し」などへの参加協力をしました。

コロナ禍にあっても各クラブは地域社会に奉仕の心を持ち協力をしていました。

③ 部評議会概要

7/23 第1回役員会・評議会 各クラブ事業計画、予算案の承認

1/28 第2役員会・評議会 前期活動報告・次々期部長承認、オンラインによるリモート活用

5/13 第3回役員会・評議会 2022-2023年度決算報告・次期役員承認

④ 主要活動

- 富士山部最大の行事である「部大会」は、コロナ禍のため中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。
- 例会の実施・ボランティア活動の実施は、コロナ感染状況を見ながら各クラブで熟慮を重ねての実施となりました。

⑤ クラブ公式訪問

7/11(伊東)13(富士・富士宮)14(沼津・三島・御殿場)25(熱海・熱海G)

⑥ クラブの状況概要 熱海クラブで1名の新入会員が前期にありました。

⑦ その他 若者の勧誘、会員増強が一番の課題だと感じます。

文献・組織検討委員会

文献・組織検討委員会委員長 駒田勝彦(甲府21)

【2022-2023 年度文献・組織検討委員会 委員】

駒田勝彦委員長(甲府21)、大久保知宏(宇都宮)、大和田浩二(松本)、小山久恵(東京サンライズ)、栗本治郎(熱海)、利根川恵子(川越)、並木 真(東京八王子)、本間 剛(東京江東)、宮内友弥(東京武蔵野多摩)、山口貴伸(もりおか)、若木一美(横浜とつか)、涌澤 博(仙台青葉城)

オブザーバー:佐藤重良理事、山田公平次期理事

【活動方針】

当委員会は、文献に関することと東日本区の組織に関することを検討する機関です。このために、理事からの諮問事項を審議すること、委員会として必要な課題の取り組みを行なっていきます。

【開催状況】

2022—2023 年度 第1回文献・組織検討委員会

日 時: 2022 年 7 月 15 日(金) 19:00～20:30 会 場: オンライン会議

議事

2022-2023 年度の検討事項及び課題について

- A. 佐藤次期理事からの次年度課題、検討事項のご提案の説明があり、質疑がありました。
- B. 駒田委員長からの検討・課題事項について説明があり、質疑がありました。

2022—2023 年度 第 2 回文献・組織検討委員会

日 時: 2022 年 8 月 19 日(金) 19:00～20:55 会 場: オンライン会議

議事

2022-2023 年度の提案、検討事項および課題について

- A. 今年度提案、検討課題事項の内容協議について協議しました。
- B. 2022-2023 年度、今期検討、課題事項の決定をしました。
- C. 各担当者の決定について確認しました。 その他

2022—2023 年度 第 3 回文献・組織検討委員会

日 時: 2022 年 9 月 16 日(金) 19:00～21:00 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者について協議し、次のように確認しました。

- ①各マニュアルについて (大和田、若木) ⑥東日本区ホームページの内容について(栗本)
- ②会員のスキル名簿について (小山、並木) ⑦理事等指名委員会のあり方について
- ③青年会員の新設について (本間、大久保) (栗本、宮内)
- ④事業委員会委員構成について (大久保) ⑧組織、その他 (駒田)
- ⑤国際協会マニュアルの和訳について(利根川)

山田次期理事から次年度への取り組みについて、LT 委員長とともに意見交換をしました。

2022—2023 年度 第 4 回文献・組織検討委員会

日 時: 2022 年 10 月 29 日(金) 19:00～20:40 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

2022—2023 年度 第 5 回文献・組織検討委員会

日 時: 2022 年 11 月 11 日(金) 19:00~20:50 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

2022—2023 年度 第 6 回文献・組織検討委員会

日 時: 2022 年 12 月 16 日(金) 19:00~20:05 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

- ① 国際協会マニュアルの翻訳について、必要事項の翻訳をしていただくように理事に要請しました。
- ② 「理事指名委員会の見直し」について、「東日本区理事キャビネット活動の手順」の直前理事の欄 4、次期の次々期理事、監事の推薦依頼」に推薦依頼状の発送時期等加筆修正する文書案を決定しました。
※次期文献・組織検討委員会 委員長に全員一致で大久保和宏委員に決定しました

2022—2023 年度 第 7 回文献・組織検討委員会

日 時: 2023 年 1 月 27 日(金) 19:00~20:05 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

2022—2023 年度 第 8 回文献・組織検討委員会

日 時: 2023 年 2 月 17 日(金) 19:00~20:05 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

2022—2023 年度 第 9 回文献・組織検討委員会

日 時: 2023 年 3 月 24 日(金) 19:00~20:20 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

- ① 「手引き、マニュアル等に見直し」に関する項を「東日本区理事キャビネット活動手順」の理事(キャビネット)として、の 3 に「手引き、マニュアル等に見直し」に関する事項を加えることを決定しました。
- ② 会員のスキルに名簿「プロボノ・ボランティアリストで出会おう」について CS・Y サ委員会からの要請分について確認しました。
- ③ 各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

2022—2023 年度 第 10 回文献・組織検討委員会

日 時: 2023 年 4 月 21 日(金) 19:00~ 会 場: オンライン会議

議 事

各課題担当者によって、説明がありそれについて協議し、確認しました。

2022—2023 年度 第 11 回文献・組織検討委員会

日 時: 2023 年 5 月 27 日(土) 19:00~ 会 場: オンライン会議

議 事

- ①青年会員の新設について (大久保、本間)

自発的、自然発生的に活動ができるように検討することとし継続審議としました。

②各マニュアルについて

次期の委員会にお任せすることとしました。

※反省点、問題点、引継ぎ事項等について話し合いの時を持ちました。

<上記に関する不足事項は、第4回役員会、代議員会ワークブックを参照してください>

【2022-2023 年度文献・組織検討委員会から理事へ答申・報告した事項】

- ① 各マニュアルについて
- ② 会員のスキル名簿について
- ③ 青年会員の 신설について
- ④ 事業委員会委員構成について
- ⑤ 国際協会マニュアルの和訳について
- ⑥ 東日本区ホームページの内容について
- ⑦ 理事等指名委員会のあり方について

LT委員会

LT委員会委員長 山下 真(十勝)

【活動指針】

- ① 困難な時にあってワイズとしてのつながりと理想主義者としてのあり方を啓発する。
- ② ビデオ会議システム Zoom を利用し、定期的な話し合いを持ちながら、必要とされる情報やリーダートレーニングのあり方を探る。
- ③ 新入会員のフォローとしてフレッシュワイズセミナーを開催する。

【活動目標】

- ① 各種手引き・マニュアルの改訂をおこなう。

【成果概要】

(1)研修会の開催

- 次期部長・事業主任研修会 12月4日(日) 35名 ウェブ会議システム Zoom
 - 東日本区、国際・地域の現状、YMCA 報告、戦略 2032
 - 山田公平次期理事の活動方針とグループ・全体討論
- 次期事業主任ワークショップ 12月21日(水) 22名 ウェブ会議システム Zoom
 - 次期事業主任方針の突き合わせと各事業員会に分かれてのグループ討論
- 次期部長ワークショップ 1月26日(木) 37名 ウェブ会議システム Zoom
 - ケーススタディ 深尾香子東新部部長

- 次期理事・事業主任方針に対する小グループに分かれてのフリートーキング
- 現部長・次期書記にも出席を依頼しました。

○次期会長・部役員研修会 3月4日(土)-5日(日) 78名 日本YMCA 同盟 東山荘

- 東日本区、国際・地域の現状、YMCA 報告
- 部に分かれての交流会
- 山田公平次期理事の活動方針とワールドカフェ形式での討論
- 事業主任・IT アドバイザーと次期部役員との意見交換

○ChatGPT 研修会 5月15日(月)

- ChatGPT でできること、操作方法などの研修 ウェブ会議システム Zoom

○フレッシュワイズセミナー 6月3日(土) 第26回東日本区甲府大会

(2) マニュアルの改訂

- ・「部事業主査の手引き」に関し、担当の浅羽委員から部事業主査にアンケートを実施しました。
- ・文献・組織検討委員会の論議を踏まえ、新しいウェブサイトの基本システムである WordPress 上でのマニュアルの格納イメージ、検索機能の実証試験を行いました。
- ・山田公平次期理事の新たな改革案との整合性をとるために、部事業主査、区事業主査の両手引きについては現在作業をとめています。

マニュアル名	改訂年月日	担当者
部長マニュアル	2018/10	手引書の性格が強く改訂の必要性認めず
部事業主査の手引き	2019/2	一時凍結
クラブ運営マニュアル(ワイズ Q&A)	2018/2	2023/2 改訂実施
区事業主任の手引き	2011/3	一時凍結

- 山田公平次期理事のスタート準備が円滑に進められるように各研修会において工夫を重ね、参加者からは一定の評価を得ましたが、LT 委員会の責任ではないものの、参加できなかった次期役員に対し、山田公平理事の方針が伝わっていない可能性が強く、部単位での研修会を提起すべきだったのではないかと考えています。
- 「次期会長・部役員研修会」を久しぶりの対面研修会として開催し、総決起集会的な機会として交流の重要性を再認識し、一定の成果がありました。

【問題点】

- 引き続き残るリモート難民問題(メールに目を通さない層の固定化も含む)
- 逆に対面では参加に費やされるエネルギーを嫌って参加しない固定層が出現
- 当方の意図が伝わらず、東日本区の変化に気が付かず研修会開催に意義を見いだせない層の固定化
- 以上の 3 つの層は、ほぼ円の重なりの中にその大部分がいると思われる。そういった方にこそ研修会参加を願う主催者側と受け取り側のミスマッチ

【引き継ぎ事項】

- 区の研修会に対する固定観念やメールを読まない固定層の出現という背景から、もはや区主体で LTOD 事業を進める時代は過ぎ去ったことも想定すべきではないでしょうか？部での役員研修会の開催を促し、そこに LT 委員会が開わるスタイルも模索すべきではないでしょうか？
- メールを読まない層、リモート難民層の固定化に対する対応策を検討すべきではないでしょうか？
- 山田公平理事の方針に基づいた東日本区事業主任・部事業主査のあり方について「区事業主任の手引き」、「部事業主査の手引き」の各関係者との改訂に向けた共同作業を通じて見直すべきではないでしょうか？
- ドロップアウト対策として、EMC 事業委員会とも協働して「ワイズお悩み相談室」を LT 委員会に設置し、外に出づらいクラブのモラハラ・パワハラ問題に対して対応しつつ、区活動にフィードバックしていく必要があるのではないのでしょうか？

東日本区ワイズ基金委員会

東日本区ワイズ基金委員会委員長 高田一彦(千葉ウエスト)

今年度も、厳しい環境の中で、ワイズ基金への献金感謝です。

ワイズ基金への献金は 6 月末の結果を東日本区事務所より 7/7 に受け取りましたのでご報告します。

JEF 委員の皆様には、1 年間有難うございました。

期首	13,408,476	
収入	766,017	(Change! 2022 委員会からの繰り戻し 12/30)
	23	(普通預金利息 8/22:6, 2/20:17)
	161	(1,000 万円定期利息 6/27)
献金	832,000	(下記献金一覧参照)
支出	298,680	(トルコ・シリア地震献金補填分)*
		*目標の 100 万に対する不足分
現在高(6/30)	14,707,997	

(献金一覧)

2022 年

7/1	佐藤重良(甲府 21)	100,000	2022-23 年度東日本区理事に就任して
7/19	田中博之(東京多摩みなみ)	100,000	母の召天を覚えて
8/25	小林 隆(沼津)	10,000	東日本区事務所が 1 年間終了して
9/30	小林 隆(沼津)	10,000	長女に子供が授かって感謝
12/26	小林 隆(沼津)	20,000	次男の自宅新築を祝って
2023 年 1/1	佐藤重良(甲府 21)	50,000	

	ワイズメンズクラブの発展を願って	
1/9	長谷川あや子(東京八王子) 50,000 エルマー・クロウ賞受賞を感謝して	
2/6	千葉ウエストクラブ 10,000 西連合 DBC ヘキサゴン締結を記念して	
3/8	次期会長・役員研修会 50,000 有志による献金	
4/10	第3回役員会 32,000 有志による献金	
4/21	千葉クラブ 50,000 石丸隆章ワイズ召天記念	
4/28	小林 隆(沼津) 20,000 長女に長男誕生、孫が小学1年生になって	
5/15	板村哲也(東京武蔵野多摩) 10,000 東日本区の発展を願って	
6/3	第26回東日本区大会 170,000 晩餐会席上献金	
6/4	東京北クラブ 100,000 クラブ解散にあたり、これまでのワイズに感謝	
6/16	佐藤重良(甲府21) 50,000 ワイズの発展を願って	
	(合計)	(832,000)



奈良傳賞選考委員会

奈良傳賞選考委員会委員長 佐藤重良(甲府21)

2022-23 年度の奈良傳賞受賞者に関して「奈良傳賞選考委員会規則」に則り、以下のとおり選考を行いました。

- 理事通信 2月号で各クラブ会長に候補者の推薦を依頼(締め切り:2月末日)
- 4月1日に奈良傳賞選考委員会を開催し、締め切りまでに届いた推薦書をもとに審議し、2名を内定
- 受賞者の意向を確認した上で、5月9日に受賞者を確定
- 受賞者 田村修也 さん(那須クラブ 1940年3月13日生まれ 83歳)
鈴木健司 さん(甲府クラブ 1935年9月18日生まれ 87歳)
- 授賞式 第26回東日本区大会 6月4日に実施

ワイズメネット委員会

ワイズメネット委員会委員長 松村仁子(甲府21)

主題:「尽きない感謝をもって、楽しく活動しよう」

スローガン:「メネットの出番です」

1. 事業報告

〈1〉2022年11月 ワイズメネットの実態を知るためアンケート調査

結果:

- ・59クラブ中 31クラブから回答 436名会員中女性会員 83名
- ・ワイズメネット会員の有無 31クラブ中、ワイズメネット会があるのは、十勝、甲府、甲府21、横浜とつか、三島の5クラブであることが判明しました。
- ・ワイズメネット会員数 65名(31クラブ中)
- ・ワイズメネット会の開催頻度 現在ほぼ無し
- ・ワイズメネット参加イベント キックオフ例会、クラブ例会、バザー、チャリティーラン他

〈2〉ワイズメネット献金依頼 2023年1月 59クラブ中 25クラブ献金 メネット保有額 367,500円

〈3〉ワイズメネット委員会 2023年1月、3月、4月

3月、4月は対面でYMCA 同盟事務所にて実施

〈4〉国内プロジェクト

東日本大震災支援:石巻広域クラブへ 367,500円寄贈

絵本贈呈:141,000円。YMCAの各施設に7月までに発送

〈5〉国際プロジェクト:ネパール・カトマンズの教育と訓練に、献金送金 53,000円

〈6〉東日本区大会ワイズメネットアワー 6月3日

講演会 講師 作家・野村路子氏(テレジンを語りつぐ会代表)

2. 評価と展望

・コロナ渦に於いて実際に会議が持てたのは3月になってようやく対面とZoomで行うことが出来ました。対面の良さ、大事さを再認識しました。

・ワイズメネット会の行事は特に持ちませんでした。

・会が組織化されなくてもワイズメネットは存在しているので、ワイズメネット会員の在り方、組織化など考える必要があります。

・コロナも落ち着いて、東日本区大会において、対面でのワイズメネットアワーを開催できたことは喜ばしいことです。

・国際協会への登録も併せて考える必要があります。

東日本大震災支援対策本部

東日本大震災支援対策本部本部長 佐藤重良(甲府21)

本年は、東日本大震災の発災から12年となりました。

- 石巻広域クラブから東日本大震災支援活動プログラムである「3.11 みんなの文庫の会」(*)の活動への支援の要請があり、東日本区大震災支援対策本部の会議で審議した結果、東日本大震災支援募金の残高から200,000円を支援することに決定いたしました。

この支援金は、3月11日に仙台YMCA、仙台4ワイズ連絡会議、東日本区、東北ヘルプの共催で石巻栄光教会にて開催された「3.11 追悼礼拝と感謝の会」の席上で贈呈されました。

(*)3.11 みんなの文庫の会

2020年11月、津波被災地の児童に「3.11」のできごとを、文庫活動を通して伝え、子どもたちの居場所を創り出すことを目的として石巻市教育委員会の後援を得て「3.11 こども文庫の会」を設立。以来毎月1回のペースで絵本の読み聞かせを始め、リズム、ゲーム、紙工作指導など実施している。2023年に対象を拡げ、「3.11 みんなの文庫の会」と改称

- 東日本大震災支援募金収支

収入		支出	
次期クラブ会長・部役員研修会 礼拝献金	34,001	石巻広域クラブへ支援金	200,000
第3回東日本区役員会礼拝献金	22,500		
前期繰越金	193,023	次期繰越金	27,024
合計	249,524	合計	249,524

Change!2022 推進委員会

Change!2022 推進委員会委員長 栗本治郎(熱海)

『Change! 2022』は、2022年12月末で終了いたしました。EMC アンケート、アクションプランの作成、Change! 2022 ニュースの毎月の発行など様々な活動をしてきましたが、会員減少を止めることができませんでした。しかし、コロナ禍の沈静化にともないワイズ活動も活発になり Change! 2022 が提唱してきたことが、今後活かされてくることと期待しています。

Change! 2022 の歩み

2018 年度

- ◆ 第 2 回東日本区役員会で『2022 年をゴールとする中期会員増強運動を展開すること』が承認
- ◆ EMC アンケート実施(クラブ・個人)

2019 年度

- ◆ EMC アンケートの結果『Change! 2022』の名称でプロジェクトがスタート
- ◆ Change! 2022 ニュース毎月発行
- ◆ Change! 2022 推進委員会会則および施行細則制定
- ◆ クラブ別 2022 年末目標会員数作成
- ◆ Change! 2022 シンポジウム開催(2020.2.1)
- ◆ アクションプランの作成・提唱
Facebook などの SNS を活用しての外向きの情報発信

2020 年度

- ◆ 助成金制度:スポンサークラブおよび新クラブへ各 5 万円助成
- ◆ アクションプラン II の作成・提唱
コロナ禍におけるリモートによるハイブリット型を基本とする例会の推奨および委員会の開催

2021 年度

- ◆ スマホ専用サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードの作成 各クラブに 100 部配付
- ◆ ワイズナイトフォーラム開催(6 回開催)

2022 年度

- ◆ 『動画で分かるワイズメンズクラブ』の修正および各クラブにカード 100 部追加配付
- ◆ 各 YMCA 機関誌にワイズ情報を掲載
各地の YMCA 機関誌にワイズの情報を掲載し、中長期的に会員増強の芽を育てていく。
- ◆ ワイズポスターの作成
ワイズ紹介ポスターを作成し、各 YMCA 施設に掲示して YMCA リーダーおよび関係者にワイズのことをより身近に感じていただき、ワイズ・YMCA のパートナーシップをより強くしていく。

4 年間の会員数の推移

2019 年 7 月 1 日	849 名	2020 年 7 月 1 日	830 名
2021 年 7 月 1 日	800 名	2022 年 7 月 1 日	770 名

4 年間の会計報告(2018-2022 年度)

活動資金:2,800,000 円(2018 年度第 3 回東日本区役員会で JEF からの支出を承認)
支出合計:2,033,983 円(残金の 766,017 円は JEF に返金)

東日本区事務所人事委員会

東日本区事務所人事委員会委員長 山田公平(宇都宮)

1月31日に小林現事務所長に継続の意向について打診しました。その結果、本人から継続の意思がある旨を確認しました。文書にて人事委員会を開催し、その結果、5人中4名が継続に賛成であり、小林現事務所長の任期を延長することにしました。本件、2月27日開催の常任役員会で報告、承認されました。

法人推進委員会

法人推進委員会委員長 大久保知宏(宇都宮)

役割

法人推進委員会規則に定められているように、当委員会は、東日本区のクラブメンバーに対して法人化の意義の理解徹底およびメリットの具体化の実現に取り組みます。同時に一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の運営体制、事業方針、行動計画等を検討し、それらに関する規定、規則、マニュアル、手順などについて作成の方向性を示すことを目的としています。

結果

上記目標達成のためにワーキングチームを構成し、活動しました。

① 教宣動画作成

原案作成までいったものの、内容を再検討することとし作業を継続します。

② 補助金申請サポート

実務経験のあるメンバーによりサポート体制を構築しています。次期、YVLF 開催資金の補助金申請を行います。

③ 一般社団法人概要書作成

原案を常任役員会に提出し、承認されました。今期中に発行いたします。

④ 一般社団法人運営マニュアル作成

変更登記など事務作業を中心としたマニュアル作成を行っています。専門家メンバーによるリーガルチェックを受ける段階です。

⑤ ユース向け新事業構築

オープンフォーラム Y をベースに新事業を企画中です。

ヒストリアン

ヒストリアン 仙洞田安宏(甲府やまなみ)

- 1) 東西日本区交流会(2月4日、5日・神戸)において紹介されたプログラム「東西日本区 25年の歩み」の東日本区部分の資料提供を行いました。
- 2) 次期クラブ会長・部役員ワークショップ(3月4日、5日・東山荘)において、「ヒストリアンからのお願い」を行いました。
- 3) コロナ禍下の活動自粛中、自宅で収集保管しておいた資料類(下記)を東日本区事務所に保管しました。(4月上旬)

〈2019-20年度分〉

1. 東京八王子クラブ 25周年記念誌
2. 第23回東日本区大会チラシ(ホストクラブ:十勝)

〈2020-21年度分〉

1. 千葉ウエストクラブのチャーターナイトプログラム、国際協会加盟認証状の写し
2. 甲府クラブ 70周年記念誌
3. 甲府 21クラブ 30周年記念誌
4. 札幌北クラブ 40周年記念誌
5. 横浜クラブ 90周年記念誌
6. 第24回東日本区大会チラシ(ホストクラブ:甲府 21)

〈2021-22年度分〉

1. 横浜つづきクラブ 15周年記念例会プログラムと15年の歩み
2. 仙台広瀬川クラブ 10周年記念誌
3. 東京北クラブ 40周年記念誌
4. 第25回東日本区大会チラシ(ホストクラブ:宇都宮)

〈2022-23年度分〉

1. 東京たんぽぽクラブ 20周年記念会報
2. 甲府やまなみクラブ設立総会・チャーターナイトプログラム、国際協会加盟認証状の写し
3. 東京武蔵野多摩クラブ 40周年記念誌
4. 西連合ヘキサゴン DBC 締結書の写し(東日本区:東京西・千葉ウエスト/西日本区:大阪西・神戸西・京都ウエスト・熊本にし)

- 4) 「東日本区 25年史」(編集責任者:板村哲也ワイズ)の編集に協力(進行中)
- 5) 日本区が東西に分割された際、東日本区で保管している西日本区各クラブの各種資料類について、収納スペースが手狭になってきたことから、西日本区への移管を提案しています。

IT アドバイザー

IT アドバイザー 大久保知宏(宇都宮)

役割

- ① 東日本区ウェブサイトの保守
- ② 東日本区メーリングリストの管理
- ③ Zoom 会議室の運用
- ④ 東日本区における IT 活用に関するアドバイス

結果

- ① 東日本区ウェブサイトの保守
十勝クラブ山下氏の協力のもと、クラブブリテン、国際会長ニュース、YMI ワールド、地域会長ニュース等の、東日本区における告知をタイムリーに行いました。
- ② 東日本区メーリングリストの管理
東京多摩みなみクラブ田中氏、熱海クラブ札埜氏の協力のもと、安定した運用が行われましたが、一部ユーザーにおいて迷惑メール対策の影響か、メール不達の現象が発生しました。
- ③ Zoom 会議の運用
東日本区保有の 2 つのアカウントによる会議室予約作業は滞りなく行われました。次期以降も適切な運用が必要と思われます。
- ④ 東日本区における IT 活用に関するアドバイス
特筆する事項はありません。

次期への課題

IT アドバイザーも新しいスキルでの運用が求められることから、後任人事を検討する時期と考えます。

トラベルコーディネーター

トラベルコーディネーター 加藤重雄(仙台青葉城)

トラベルコーディネーター(TC)としての役目である BF 代表の受け入れについて、これまでの経緯をご報告いたします。

3 年前に決定していたペルーからの BF 代表 Roxana さん(ご主人と 2 人)は、コロナ禍でずっと来日が延期になっていた状態で、私が前任の TC 長澤氏より引き継ぎを受けました。

ようやくエアロメヒコ航空の運行開始に伴い、来日が決定したのが昨年 6 月であり、その後すぐに査証取得の手続きを行うため、招聘書、身元保証書の作成、そして日本でのスケジュールが必要なため、西日本区の TC 鉄谷さん、そして東日本区は東新部部長の深尾さんを中心に受入日程の作成をお願いしました。最終日程では、

東西日本区での交流を終えた後、台湾での 100 周年記念祝賀会にも参加するという充実した内容で組むことが出来ました。

ここに至るまで、前任者の長澤 TC と Roxana さんとの数十回にも及ぶやりとりがあり、今回空港出迎えや受入れをお願いした各クラブ等、たくさんの方々の手を借りて、7/20 申請書類を BF 代表に送ることが出来、7 月末にはペルーでの日本大使館での査証申請、8 月には台湾に行くための台湾大使館での査証申請までこぎつけました。

ところが、またまたエアロメヒコ航空の運行中止により、来日が出来なくなり、暗礁に乗り上げたまま年が明けました。その後 Roxana さんが持っていた航空券は、アメリカ・カナダには行けるトラベルバウチャーとして交換されましたが、新たに日本に来るには追加代金がかかり費用がかさむこともあって来日は断念され、現在白紙となっています。

今回、多くの方々の善意と労力に感謝するとともに、TC の役目の大きさを痛感した次第です。

次年度も引き続き私が TC を務めます。WHO が新型コロナ「緊急事態宣言」終了を発表したこともあり、次年度は BF の交流が実現できることを願っています。

広報・伝達(PR)専任委員

広報・伝達(PR)専任委員 山本俊一(甲府21)

広報・伝達(PR)専任委員の職務である東日本区ウェブサイトへによる情報伝達に加えて、東日本区のフェースブックページにおいて以下の情報を発信いたしました。

- | | |
|------------|---|
| 2022.06.13 | 第 26 回東日本区大会告知(甲府 21) |
| 2022.06.18 | 国際協会 100 周年記念祝賀会案内 |
| 2022.07.01 | 東日本区区報および理事通信 7 月号掲載 |
| 2022.07.16 | 7 月 10 日理事就任引継ぎ式実施 |
| 2022.07.16 | 戦略 2032 について教宣動画掲載
https://youtu.be/rLM3y8mjgyA |
| 2022.08.21 | 理事通信 8 月号掲載 |
| 2022.08.30 | ハンドブック&ロースターは 9 月 10 日頃お届け |
| 2022.09.04 | 甲府やまなみクラブチャーター(9 月 3 日) |
| 2022.09.05 | 理事通信 9 月号掲載 |
| 2022.09.21 | 国際協会 100 周年記念祝賀会延期 2023 年 3 月 10 日～ |
| 2022.10.08 | 東新部部大会(2022 年 10 月 8 日実施) |
| 2022.10.16 | あずさ部部大会&富士五湖クラブ 20 周年(2022 年 10 月 15 日) |
| 2022.11.7 | 東日本区第 2 回役員会(2022 年 11 月 5 日) |

2022.11.7 理事通信 11 月号掲載
2022.11.16 YMI ワールド日本語版最新号案内
2022.11.18 東西日本区交流会登録開始案内
2022.12.1 祈りの輪について考える
2022.12.3 東西日本区交流会案内
2022.12.8 理事通信 12 月号掲載
2023.01.01 理事通信 1 月号掲載
2023.01.07 在京ワイズ合同新年会(2023 年 1 月 7 日)
2023.02.05 東西日本区交流会報告(2023 年 2 月 5 日)
2023.02.06 東西日本区交流会「ヘキサゴン」(DBC 締結)
2023.02.07 理事通信 2 月号掲載
2023.02.15 LT 委員会より「次期会長・部役員ワークショップ」案内
2023.03.09 理事通信 3 月号掲載
2023.03.11 国際協会 100 周年記念祝賀会報告
2023.03.15 国際協会 100 周年記念祝賀会報告
2023.03.15 第 26 回東日本区大会申込み開始告知
2023.03.18 トルコ・シリア大地震支援募金支援依頼
2023.04.01 第 26 回東日本区大会案内
2023.04.03 第 26 回東日本区大会案内
2023.04.04 理事通信 4 月号掲載
2023.04.09 第 3 回東日本区役員会報告(2023 年 4 月 8 日・9 日)
2023.04.18 W4W スタート
2023.04.20 W4W 実施報告(東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京まちだスマイリング)
2023.04.20 ChatGPT 講座開催告知(LT 委員会主催・2023 年 5 月 15 日)
2023.04.23 W4W 実施報告(埼玉、所沢、川越)合同(2023 年 4 月 22 日)
2023.04.25 W4W 実施報告(東京サンライズ)(2023 年 4 月 22 日)
2023.04.26 第 26 回東日本区大会広告募集
2023.04.28 第 26 回東日本区大会案内
2023.04.28 W4W 実施報告(甲府21・2023 年 4 月 22 日)
2023.05.08 理事通信 5 月号掲載
2023.06.20 理事通信6月号掲載

▼理事通信掲載 7 月-6月 12 回

その他 23 回

ユース代表

ユース代表 川口夏菜子(宇都宮)

〈活動実績〉

2022.6.5 東日本区大会内ユースアワー司会

2022.9.5～9.9 国際ユースコンボケーション(タイ・チェンマイ)参加

2022.9.30～10.2 第34回ユースボランティアリーダーズフォーラム 参加

〈活動内容〉

- 東日本区大会内ユースアワー

Youth Action 採択チームによる意見交換会の進行を行いました。チームごとに進めるにあたっての課題やそれに対する解決方法を見出していて、採択チーム同士が話し合うことで、今後の活動に幅を持たせることが出来ました。

- 国際ユースコンボケーション

宇都宮クラブからの推薦で参加者として参加しました。各クラブから推薦されたユース一人ひとりが普段とは違う環境に置かれることで、不安を負っていた部分が多いように感じられましたが、同時に、乗り越えるための工夫を学んでいるように見受けられました。

- 第34回ユースボランティア・リーダーズフォーラム

とちぎ YMCA スタッフとして、研修名目で参加しました。ユース事業委員会の皆さまを始め、ユースに関心のあ
るワイズメンの皆さまから、ユースクラブのお話を伺えたことで今後のユース事業についてどのように進めてい
かを改めて考えるきっかけとなりました。

〈ミーティング〉

東日本区ユース事業委員会 MTG:月に1度程度

アジア太平洋地域ユース代表 MTG:2週に1度程度

ユースクラブ設立を目標に進めていきましたが、実現出来ませんでした。

国際ユースコンボケーション終了後に、山梨 YMCA リーダー会の支援に力を入れたいと考えていましたが、そ
のための仲間集めが不十分でした。また、とちぎ YMCA OB/OG を中心とした Y3 宇都宮からは、代表が再構
築を考えていると伺っています。

⇒7月23日(日)追記

・Y3 宇都宮活動状況について:2023年7月9日(日)とちぎ YMCA が指定管理を受ける宇都宮市青少年活
動センターの主催事業「あそぼまつり」内にて、今後の活動資金集め・広報を目的に協同でブース出展を実施し
ました。今後もとちぎ YMCAOB/OG を中心に声がけをし、ブース出展をすることで、会員増強に努め、ユース
ボランティアリーダー育成のための支援をしたいとお話されていました。

東日本区事務所

東日本区事務所所長 小林 隆(沼津)

東日本区事務所の年次活動報告です。東日本区事務所は、月・水・金曜日の午前 10 時 30 分から午後 5 時 00 分まで営業しています。

1. 月次の主な活動

7 月	<ul style="list-style-type: none"> 年次決算書の作成と会計監査資料準備 ・1 日...基準の半年報集計 10 日...理事引継式の準備(山梨 YMCA) ・15 日...会計監査の補助 25 日...7 月 1 日基準前期半年報による前期区費請求書・献金目標を会長へ送付
8 月	<ul style="list-style-type: none"> 1 日...半年報に基づく 8 月 1 日基準の国際半年報 portal buzz へ会員登録 31 日...日国際本部への前期会費の外国送金銀行手続き(納付期限 8 月末)
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ハンドブック、メンバーシップロースターの発送作業 15 日...アジア太平洋地域への前期会費の外国送金(今期のみ次期アジア会長旅費と相殺)
10 月	<ul style="list-style-type: none"> 15 日...国際役員投票免除申請を国際へ提出(portal buzz へ登録)
11 月	<ul style="list-style-type: none"> 5 日...第 2 回役員会準備と役員活動費の支給
12 月	<ul style="list-style-type: none"> 23 日...1 月 1 日基準後期半年報による後期区費請求書を会長へ送付
1 月	<ul style="list-style-type: none"> 15 日以降...後期半年報の集計作業 ・20 日以降...後期区費請求書発送(献金含め)
2 月	<ul style="list-style-type: none"> 10 日...後期区費の収納と集計作業 ・31 日...各種献金収納と集計作業 10 日...1 月 1 日半年報に基づき 2 月 1 日基準の国際半年報を portal buzz へ会員登録 24 日...国際本部への後期会費の外国送金銀行手続き(納付期限 3 月 15 日)
3 月	<ul style="list-style-type: none"> 4 日～5 日...次期会長・部役員研修会準備と参加(受付対応) ブースター賞国際オンライン登録申請実施(登録期限 3 月末)
4 月	<ul style="list-style-type: none"> 8 日...第 3 回役員会の準備(備品・交通費) ・8 日...中間会計監査の準備と監査補助 今年度の各種表彰資料作成(29 日表彰会議提出)
5 月	<ul style="list-style-type: none"> 表彰会議決定の表彰状作成(388 枚、東日本区大会へ持参) 29 日...国際本部へ献金外国送金銀行手続き(納付期限 5 月末)
6 月	<ul style="list-style-type: none"> 東日本区大会準備 ・3 日～4 日...東日本区大会参加(受付、表彰、物品販売) 23 日...アジア太平洋地域への後期会費の外国送金(納付期限 3 月 15 日を延期)
毎月	<ul style="list-style-type: none"> 会計の記帳作業...6 月末 1,294 件の入出金を仕分けし会計ソフトへの入力と帳票整理 入会会員・退会会員・休会会員・広義会員・功労会員の受付管理(計 110 先)

2. 役員会・委員会へのオブザーバー参加

役員会 3 回、常任役員会 10 回、EMC 委員会 2 回、ユース委員会 4 回、LT 委員会 4 回、Change ! 2022 推進委員会 5 回、法人推進委員会 8 回、東西交流会実行委員会 5 回

3. 改善・反省点

区費の請求書発送が遅れて各クラブに迷惑をおかけしました。

事務所書類の整理整頓を始めましたが、一部の収納のみで進みませんでした。

事務処理が多く効率化を考えていますが進んでいません。一人で月水金だけでは事務が追い付かず、前事務所長さんの応援を得ているのが現状です。補助応援体制を検討する必要があると思います。

担当主事

担当主事 大澤篤人(茨城)

2022 年度も新型コロナウイルス感染症の影響が依然として色濃く残る中、With コロナを模索しながら歩んできた1年でした。オンラインを駆使しつつ、蓄積してきた感染予防対策を講じながら、様々なプログラム、イベントがハイブリッドや対面で開催されました。2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の 5 類としての位置づけが変更され、ついにアフターコロナと呼ばれる時代に差し掛かっている中、この時を見据えて策定され最終 3 年目を迎えた日本 YMCA 中期計画では、以下の 5 つの活動が推進されています。

【日本 YMCA 中期計画】2021 年度～2023 年度

- 1 **Positive well-being** Positive well-being を提唱し、「みつかる。つながる。よくなっていく。」の体験提唱を通して全人一貫教育の価値を最大化し、社会の健康を目指す。
- 2 **Youth Empowerment** 若い世代が夢を持ち、自己実現のために参画できる社会を創造する。YMCA は、若者の信頼できるパートナーとして、時代に適応し、姿を変える。
- 3 **Technology for social inclusion&diversity** インクルーシブな社会の実現のために、あらゆる場面でテクノロジーを活用し、多様なオンラインコミュニティのプラットフォームとなる。
- 4 **Partnership** 地域社会の課題に対し、企業や行政、地域の諸団体をパートナーとし、時にかなったスピード感をもって解決に臨む。
- 5 **Change Agent** 未曾有の世界危機において、YMCA に関わる一人一人がポジティブネットの実現のために地域、世界の課題に臨み、Change Agent(Global Servant)の育成に注力する。

2022 年 7 月にはデンマークで第 20 回世界 YMCA 大会が開催され、世界中のすべての YMCA が連携して取り組むことができる統一された枠組みとして、VISION2030 が採択されました。

【VISION2030】

YMCA ビジョン

私たちのビジョンは、一人ひとりが自分自身と、社会と、そして被造物と調和し、生きることができる世界です。

YMCA ミッション

YMCA の使命は、公正で持続可能であり、公平でインクルーシブな世界を築き、すべての人が身体、心、精神の面で成長できるように、世界中の若者とコミュニティをエンパワーメントすることです。

4 つの活動の柱

- 1 Community Wellbeing コミュニティウエルビーイング

2 Meaningful Work	やりがいのある仕事と環境の創造
3 Sustainable Planet	持続可能な地球のために
4 Just World	公正な世界の実現のために

【活動報告】

- ・ウクライナ避難者支援を継続して実施しました。2023年3月にはYMCAのグローバルなネットワークを活用した渡航支援、来日後の各地域での生活支援と、日本語学習、教育・就業・医療等、総合的な「伴走支援」などが高く評価され、出入国在留管理庁長官から感謝状をいただきました。最新情報は右記参照。
- ・ワイズメンズクラブ東日本区、西日本区から、毎年、ご支援をいただいているユースリーダーとユーススタッフなどを中心とした以下の活動を実施しました。
 - ①第53回全国リーダー研修会
 - ②第22回日本YMCA大会
 - ③第48回全国学生YMCA夏季ゼミナール
 - ④第20回世界YMCA大会ユース派遣
 - ⑤日韓学生YMCA交流会
 - ⑥日本YMCAスタッフ研修ステップII
- ・ワイズメンズクラブ東西両区とYMCAが協働で行う、地域課題解決に向けたユースによる活動への支援、Y's SDGs × Youth Action2022を実施しました。
- ・2023年2月に発災した、トルコ・シリア大地震被災地支援として、緊急支援募金を実施しました。トルコ・シリアにはYMCAがないため、今回は「ACT Alliance(アクト・アライアンス)」を通じて支援活動を行いました。「アクト・アライアンス」は教派を越えた連盟組織で、人道支援や政策提言活動を行っています。震災直後から継続した支援物資の提供などを行っています。

【全国規模の活動】

バーチャルリアルチャリティーラン、被災地支援物資配布、同盟協議会、日本YMCA大会、事業研修、「伴走プログラム」の全国展開での継続実施、ピンクシャツデーへの取り組み、ウォーターセーフティーキャンペーン、Amazonとの協働プログラミングクラス「Amazon Cyber Robotics Challenge」展開、社会貢献型プログラミングクラス「YMCA Future Engineer」、Amazon みんなで応援プロジェクトの実施、他。
日本YMCAとして、全国各地のYMCAが新しいチャレンジを継続しています。

【担当主事活動報告(反省/課題)】

- ・役員会、常任役員会、次期役員研修会などへの列席、情報共有などを行いました。
- ・当初は必要な情報共有を的確に判断し迅速に対応することができなかった場面もありました。各クラブと担当主事やYMCAの関係性が、クラブによってさまざまであることから、パートナーシップ強化のための方法は画一的にはいかないこと、相互理解不足であることは課題と感じています。

- ・就任時ワイズメンではなかったことが最大の反省であり、今期ワイズメンとなったことが最大の収穫です。この他、全国的な広い視野でワイズ理解を深められたことも大変大きな収穫でした。この学びの 1 年を、ワイズと YMCA のパートナーシップ強化につなげていく必要性を感じています。
-

2022-2023 年度行政監査報告書

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2022-2023 年度理事 佐藤重良様

2023 年 7 月 24 日

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2022-2023 年度 監事 田中博之
同 小倉恵一

東日本区定款第 19 条「監事の任務」の第 2 項および第 3 項の規定に基づき、2022 年 7 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日までの期間のワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事の職務の執行状況、東日本区の内部統制システムの機能状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

<補足>

東日本区定款第 6 条「代議員会」の第 9 項(1)の定めにより、2023 年 6 月 3 日に開催された年次代議員会において、2023 年 5 月 31 日時点での行政監査の結果を中間報告として提示いたしました。今般、2023 年 6 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日までの期間についての行政監査を行った上で、上記中間報告書の記述を一部変更、追加し、2023 年 8 月に開催される予定の臨時代議員会に提示する次第です。

記

【監査方法】

監事は、日頃、理事および関係者との意思疎通を図り、また、監査期間中に開催された全ての東日本区役員会、同常任役員会、東日本区主催の研修会に出席し、2022-2023 年度の年次報告書も参考にし、適切な監査を行うための情報収集、モニタリングを実施いたしました。

【監査結果】

2022 年 7 月 1 日から 2023 年 6 月 31 日までの期間、東日本区理事は、ワイズメンズクラブ国際協会の憲法・ガイドライン、同アジア太平洋地域の憲法・ガイドライン、同東日本区の定款・定款施行細則、その他の規則に従い、また、法や社会規範に反することなく職務を遂行し、東日本区の運営が適切に行われていたことを認めます。また、理事の年次報告書は、活動状況を正しく示していることを認めます。

以上

【付帯意見】

以下に、今年度(2022-2023 年度)を振り返って、理事の職務遂行状況のみならず、東日本区全体や各事業に関わる事項について、また、2023-2024 年度への提言も含め、付帯意見を記します。

総括

今年度も新型コロナウイルスの影響によって、対面の会合を持てないなど、東日本区の活動は、大幅に制限された状態でスタートしました。しかし、このような状況下においても、理事を始めとする区のリーダーの皆さんの熱意とリーダーシップによって、区の組織運営、各事業活動が可能な限り活発に行われたことに敬意を表します。年度の中盤からは、活動の制約も徐々に緩やかになり、11月の第2回東日本区役員会は対面と Zoom によるハイブリッドで開催され、4月の第3回東日本区役員会は対面のみで開催され、また、東西日本区交流会、東日本区大会も対面で行うことができるまでに至りました。特に、東日本区大会は、2019年以來の対面による大会でしたが、大会実行委員会の皆さまのご尽力により、また、財政的にもご支援いただき、意義ある大会、交流の楽しさを実感できる大会となりました。

一方で、コロナ禍の影響もあり、会員増強を始めとする各種目標が達成できなかったもの、計画されていた事業の内、十分に取り組むことができなかったものも見受けられます。今年度の「東日本区年次報告書」では、理事以下、多くの方々が、単に1年間の記録だけではなく、できなかったこと、不十分だったことを記載されていることを評価いたします。今後はさらに、何故できなかったのか、目標・計画が妥当なものであったかなどの検証、分析も加えて、それぞれ、次期の方々に引き継いでいただくとともに、サポートを行っていただきたいと思えます。また、次期(2023-2024 年度)の役員の皆さまに対しては 2021-2022 年度からの懸案である東日本区ウェブサイトのリニューアルを含め、今期からの引き継ぎ案件について早期の対応、実施をよろしく願いいたします。「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」のときに変わりつつある今そしてこれから、区、部、クラブが、明るく、希望を持ち、伸び伸びと課題の解決と活動の発展に取り組まれていくことを願います。

中長期計画について

2022年5月、ワイズメンズクラブ国際協会は、創立100周年を機に、YMIの新世紀において、これからの10年に向けての長期計画である「戦略2032」を国際議会で採択いたしました。キーワードは、「親睦(フェロウシップ)と地域社会への影響力」であり、また、「健康、環境、教育」です。

今年度、東日本区においては7月の第1回東日本区役員会および12月の次期部長・事業主任研修会で説明会が開催され、区、部、クラブで「戦略2032」の学びの場を設け、また、これを受けての中長期計画を策定することが奨められました。しかしながら、今年度は、この取り組みの進捗を見ることができませんでした。

これまで、区理事を始めとするワイズの役員は、単年度任期が基本で、事業計画も単年度のものに留まることがほとんどでしたが、中長期的なビジョン、目標を掲げ、それらをメンバーに良く浸透させた上で、各年度においてなすべきこと、目標を立てて取り組み、PDCA(Plan Do Check Action)のサイクルの中で、適宜振り返りを行い、必要な方向修正/目標変更を行っていくことが望まれます。

次期の山田理事は2年間理事を務められ、より長いスパンでの計画を立て、じっくりと課題に取り組むことができることは幸いです。また、次期には、東日本区の将来構想をまとめる委員会を立ち上げられる予定ですが、「戦略2032」に呼応して、例えば10年先に私たちの組織、活動がどうなっていたいのかのビジョン・夢を描き、それ

に向けての具体的なアクションプラン、マイルストーンを多くの会員の意見も取り入れた上で策定されることに大いに期待しています。また、是非、部、クラブでも志しを高くした、中長期の計画を立てられることをお褒めいたします。

東日本区の収支について

今年度、佐藤理事は支出の削減に務められましたが、今年度の東日本区経常会計の年度末単年度収支は、年度末に新設されたユース事業ファンドへの 100 万円の移管を除いて、約 100 万円の赤字となりました。2021-2022 年度からの繰越金が約 500 万円あったため、経常会計を維持できた状況にあります。

単年度赤字の原因は、収入面では会員数が伸び悩んだことによる区費収入の減少、支出面では円安による国際会費(スイズフラン)、アジア太平洋地域会費(米ドル)の負担増が主な原因と思われます。

次期も、これらの要因の影響を受け、また、「アフターコロナ」による対面会議の増加による交通費補助の支出が増えることが予想されるため、予算案の策定には相当苦勞されたことと思われます。

収支を改善するためには、収入を増やし、支出を減らせば良い訳ですが、支出を抜本的に今以上削るのは困難であり、むしろ各事業でやるべきこと、やろうとしたことを進めていくためには、区事業費などの増額も望まれるところです。従って、まずは、収入の増加を図っていく必要があり、会員増強に一層取り組んでいただくことに加え、定常的に公的援助や、寄付金を得られるような相手、スキームを探すこと、さらには区としての収益事業の検討などを行っていく必要もあります。これらについても、ぜひ将来構想の検討の対象としていただきたいと思います。なお、東日本区区費は 2006 年度にそれまでの年額 14,000 円が 15,000 円に改定されました。それから 17 年が経過した今、区費の妥当性について検証することも必要と思われます。